

都道府県・指定都市における「昭和100年」関連施策一覧

【都道府県】

※令和8年6月30日現在
＜※赤字は追加した施策＞

団体名	番号	施策名	実施時期	施策の概要
北海道	1	赤れんが庁舎改修事業	令和7年度	北海道の歴史文化・観光情報の発信拠点として、館内の展示等の整備を行った。 館内の展示においては、国の重要文化材として指定を受けた当時（S44）の状況を再現した長官室や、北海道の歴史や文化について学ぶことのできる内容が含まれている。
	2	赤れんが庁舎PR事業	令和7年度	北海道の歴史文化・観光情報の発信拠点として、館内の展示等を整備し、赤れんが庁舎のプレオープン（報道機関向け）及びリニューアルオープン記念式典等を開催した。 館内の展示においては、国の重要文化材として指定を受けた当時（S44）の状況を再現した長官室や、北海道の歴史や文化について学ぶことのできる内容が含まれている。
	3	北海道史の編さん	令和7年度	郷土の歴史に対する道民の理解と関心を深めるとともに歴史的資料を後世に伝えるため、第二次世界大戦後を主たる対象とする現代史を中心とした新たな北海道史の編さん作業（主に原稿執筆）を行った。 編さん予定：北海道現代史「通史編1」（時期：1945（昭20）～1970（昭45）頃）
	4	日本遺産「炭鉄港」広域連携加速化事業	令和7年度	北海道近代化の物語である「炭鉄港」の普及啓発及び地域への誘客促進に係る各種取組を実施し、昭和を学ぶ機会を提供する。
	5	樺太関係資料室における特別展示	令和7年7月25日から令和7年中	樺太等残留法人などに関する展示等を実施し、次世代へ戦争体験の伝承を図る。 実施場所：赤れんが庁舎地下1階樺太関係資料室
	6	昭和100年記念 日本遺産×北海道遺産パネル展	令和7年7月28日から29日	日本遺産や北海道遺産など、道内各地の文化・歴史を形成してきた多彩な「遺産」の価値や魅力を広く発信するパネル展。「昭和100年」の冠を付し、昭和時代の遺産を紹介するパネル展示等を行い、昭和を学ぶ機会を提供した。 実施場所：北海道庁道政広報コーナー 実施主体：北海道、NPO法人北海道遺産協議会
	7	平和祈念企画展	令和7年7月30日	戦争体験の語り部による講話等を内容とする平和祈念企画展を実施し、次世代へ戦争体験の伝承を図った。 実施場所：北海道立総合体育センター（北海きたえーる）2階講堂・視聴覚室
	8	北海道ふるさと教育・観光教育等推進事業	令和8年5月1日から令和9年3月31日	市町村立義務教育諸学校への北方領土の語り部（元島民・後継者）を派遣し、次世代へ戦争体験の伝承を図る。
	9	第63回 氷雪の門・九人の乙女の碑平和祈念祭	令和7年8月20日	樺太物語者を追悼する平和祈念祭の開催時に、戦後80年事業として、樺太からの引揚者等に関するパネルを展示し、次世代へ戦争体験の伝承を図った。 実施場所：稚内市総合文化センター 実施主体：氷雪の門・九人の乙女の碑平和祈念祭実行委員会（パネル展示：北海道）
	10	戦後80年「ヒロシマ・ナガサキの証言」展	令和7年9月3日から4日	赤れんが庁舎2階催事場において、道内の被爆当事者や若者（高校生・大学生）と共に被爆体験を次の若い世代に継承する当該事業を開催。被爆当事者から直接、来館者（若者等）に対して展示品（被爆当時の写真や遺品等）の説明や被爆体験の語り部のほか、高校生による被爆体験朗読劇を行い、「次の若い世代へ原爆被爆の歴史を継承し、世界平和を目指していく」という姿を強く道民に発信した。（主催：北海道）
	11	日本遺産×北海道遺産PRイベントin旭川	令和7年10月11日	地域遺産の認知度向上や地域への誘客に繋げるイベント。イベントの中で、昭和時代の炭鉄港に関連するパンフレット配布等を行い、昭和を学ぶ機会を提供した。 実施場所：イオンモール旭川西 実施主体：北海道、大雪山麓上川アイヌ日本遺産推進協議会
	12	北前船フォーラムin信州まつもと（PRブース出展）	令和7年11月21日	北前船をテーマに、関係自治体が連携してその魅力を発信するイベント。昭和時代の炭鉄港を含む日本遺産のPRのため、PRブースにおいてパンフレット配布等を行い、昭和を学ぶ機会を提供した。 実施場所：ホテルブエナビスタ 実施主体：北前船フォーラムin信州まつもと実行委員会
	13	北海道史の編さん	令和8年度	郷土の歴史に対する道民の理解と関心を深めるとともに歴史的資料を後世に伝えるため、第二次世界大戦後を主たる対象とする現代史を中心とした新たな北海道史を編さんする。 編さん予定：北海道現代史「通史編1」（時期：1945（昭20）～1970（昭45）頃）
	14	昭和100年記念 日本遺産×北海道遺産パネル展	令和8年7月27日から28日	日本遺産や北海道遺産など、道内各地の文化・歴史を形成してきた多彩な「遺産」の価値や魅力を広く発信するパネル展。「昭和100年」の冠を付し、昭和時代の遺産を紹介するパネル展示等を行い、昭和を学ぶ機会を提供する。 実施場所：北海道庁道政広報コーナー 実施主体：北海道、NPO法人北海道遺産協議会
	15	北前船寄港地フォーラムin新潟（PRブース出展）	令和8年10月30日（予定）	北前船をテーマに、関係自治体が連携してその魅力を発信するイベント。昭和時代の炭鉄港を含む日本遺産のPRのため、PRブースにおいてパンフレット配布等を行い、昭和を学ぶ機会を提供する。 実施場所：ANAクラウンプラザホテル新潟 実施主体：北前船フォーラムin新潟実行委員会
	16	日本遺産×北海道遺産PRイベントin発寒イオン(仮称)	令和8年11月14日	地域遺産の認知度向上や地域への誘客に繋げるイベント。イベントの中で、昭和時代の炭鉄港に関連するパンフレット配布等を行い、昭和を学ぶ機会を提供する。 実施場所：イオンモール札幌発寒 実施主体：北海道

団体名	番号	施策名	実施時期	施策の概要
青森県	1	青森県立図書館企画展示	令和7年3月28日から5月25日	県立図書館内の閲覧室において、毎月実施している企画展示の一環として、「昭和100年」をテーマに、昭和の時代、100年にちなんだ書籍の展示、視聴覚資料の上映、電子書籍の案内を実施した。
	2	青森県立図書館 体験型おはなし会	令和7年10月25日	県立図書館において毎月実施している「おしえて先生！知るしるする探検隊」の中で、「青森りんごは150周年！」をテーマに、講師による、昭和期を含む青森りんごの歴史等のおはなし会や関連本の展示を行った。
	3	警察広報史料展示	令和7年11月4日から （昭和コーナーは令和8年末まで）	警察本部庁舎1階ロビーに設けた展示スペースに、旧制服、旧階級章等、昭和期を含む明治から現代までの史料を展示するとともに、モニターにおいて警察略年表、写真等を映像配信。
	4	警察音楽隊自主活動演奏会	令和8年2月11日	警察音楽隊が自主活動演奏会において、「昭和１００年史」と題して昭和歌謡を演奏。 実施場所：サンロード青森
	5	警察音楽隊自主活動演奏会	令和8年2月16日	警察音楽隊が自主活動演奏会において、「昭和１００年史」と題して昭和歌謡を演奏。 実施場所：ELM
	6	県史編さん資料 保存活用	令和7年度	昭和期をはじめとする青森県の貴重な歴史資料を県民共有の財産として、適切に整理・保存し、県民が手軽に調べられるようなシステムとして「青森県史デジタルアーカイブス」を構築し、インターネット上で公開している。昭和100年を機に、本システムの昭和期資料の積極的な活用を周知する。
	7	青森りんご植栽150周年を契機とした「青森りんご」のPR	令和7年度	・昭和期を含む明治から現在までの150年を振り返る150周年記念式典・イベントの開催。 （令和7年9月13～14日 弘前市） ・「青森りんご」の歴史パネル展を各地で開催。
	8	青森県立郷土館 館外活動	令和7年度	・7月31日開催の荒川市民センター講座『「昭和100年記念」暮らしを変えた昭和の家電』へ講師を派遣した。
	9	警察音楽隊自主活動演奏会	令和8年5月5日	警察音楽隊が警察フェアの演奏会において、「昭和１００年史」と題して昭和歌謡を演奏。 実施場所：CiiNA CiiNA 青森
	10	警察音楽隊自主活動演奏会	令和8年9月	警察音楽隊が自主活動演奏会において、「昭和１００年史」と題して昭和歌謡を演奏。 実施予定場所：サンロード青森
	11	青の煌めき あおもり 国スポ	①令和8年1月31日から2月17日 ②令和8年10月10日から20日	①「昭和100年記念」の冠称を付与した、青の煌めきあおもり国スポ冬季大会の開催。 ②「昭和100年記念」の冠称を付与した、青の煌めきあおもり国スポ本大会の開催。
	12	青の煌めき あおもり 障スポ	令和8年10月23日から26日	「昭和100年記念」の冠称を付与した、青の煌めきあおもり障スポの開催。
	13	警察音楽隊自主活動演奏会	令和8年12月	警察音楽隊が自主活動演奏会において、「昭和１００年史」と題して昭和歌謡を演奏。 実施予定場所：CiiNA CiiNA 青森
	14	青森県近代文学館企画展	令和8年12月5日から令和9年3月7日	「昭和歌謡」と青森県にゆかりの文人たちとの関わりを紹介・展示する。
	15	青森県立郷土館 館外活動	令和8年度	県立郷土館において、依頼に応じ昭和100年関連事業等への講師派遣や、パンフレット等に用いられる当館収蔵資料（当時の写真や事物等々）の掲載・撮影・貸出し許可を行う。
	16	県史編さん資料 保存活用	令和８年度	昭和期をはじめとする青森県の貴重な歴史資料を県民共有の財産として、適切に整理・保存し、県民が手軽に調べられるようなシステムとして「青森県史デジタルアーカイブス」を構築し、インターネット上で公開している。昭和100年を機に、本システムの昭和期資料の積極的な活用を周知するとともに、庁舎内での写真展示等を行う。
岩手県	1	岩手の歴史トピックスデジタルアーカイブの開設	令和7年2月28日から	県政150周年記念事業の取組において、県が保有する昭和から平成までを記録した県政映画・広報誌などの懐かしの資料をデジタルアーカイブとして公開している。
	2	県政150周年記念パネル巡回展の実施	令和7年度（随時開催）	県政150周年記念事業の一環として、昭和期を含む明治初期から現代まで、岩手県の歩みを歴史的資料や写真で振り返り、地域の発展や人々の暮らしの変化を分かりやすく紹介する「岩手県政150周年記念パネル展」を県内各地で開催。
	3	「アツと驚く～！昭和クイズ100連発!!」	令和7年8月30日から10月30日	昭和の出来事からクイズを100問作成し、館内に掲示。クイズチェックシートを配布し、挑戦してもらいイベントを開催した。 実施場所：岩手県立図書館
	4	総合ミニ展示「since1926懐かしの昭和」	令和7年10月1日から30日	昭和クイズの企画と連携した昭和に関する図書や視聴覚資料のミニ展示を行い、貸出を行ったほか、展示リストを作成し、配布した。 実施場所：岩手県立図書館

団体名	番号	施策名	実施時期	施策の概要
岩手県	5	ーしょうわ100ねんー やってみよう!! しょうわのあそび	令和7年10月5日	昭和100年の年に合わせ、けん玉やお手玉、あやとりなど昭和に流行した遊びを体験できるイベントを開催した。 実施場所：岩手県立図書館
	6	県政150周年記念式典の開催	令和8年5月25日	県政150周年記念事業の一環として、岩手の歴史を振り返り、発展に尽力した先人を敬い、岩手の未来を展望する機会とすることを目的とした記念式典を開催した。 開催場所：トーサイクラシックホール岩手
	7	県政150周年記念事業次世代人材育成プログラムの実施	令和8年6月～令和9年2月	県政150周年記念事業の一環として、「世界に開かれた地方創生」実現に向けて地域の発展に貢献する人材の育成・確保につなげるため、県内高校生等50名が年間を通じて岩手の歴史、文化、産業等を学び、9月に北米で岩手の魅力や復興の姿を発信するもの。 派遣先：サンフランシスコ、ロサンゼルス等
	8	県政150周年記念パレードの開催	令和8年11月8日	県政150周年記念事業の一環として、県民を挙げて大きな節目を祝い、復興の姿を県内外に発信し、地域振興につなげる機会とすることを目的とした記念パレードを開催予定。 開催場所：陸前高田市
	9	第2回 やってみよう!! しょうわのあそび	令和8年5月16日	けん玉やお手玉、あやとりなど昭和に流行した遊びを体験できるイベントを開催した。 実施場所：岩手県立図書館
	10	企画展「岩手県誕生物語～県政150周年記念～」	令和8年5月16日から7月20日	令和8年度は「県政150周年記念期間」の最終年度であり、現在の岩手県域確定からちょうど150年の節目に当たる。盛岡・仙台・一関・八戸の各藩に分かれていた江戸時代から、動乱の戊辰戦争、「岩手県」誕生に至るまでの岩手県域の歴史を、当館所蔵資料と共に振り返る企画展を開催。 実施場所：岩手県立図書館
	11	としょかん映画会【企画展「県政150周年記念 岩手県誕生物語」関連映画会】	令和8年6月14日 令和8年7月6日	企画展「岩手県誕生物語～県政150周年記念～」に関連した映画会を開催予定。 『県政映画1』（1960～1963年/上映時間110分） 実施場所：岩手県立図書館
	12	県政150周年記念としょかん映画会	令和8年8月22日	県政150周年記念に関連した映画会を開催予定。 『ビデオ劇画 宮古港幕末・維新秘話』（上映時間30分） 実施場所：岩手県立図書館
宮城県	1	ミニ展示「昭和100年記念～昭和時代にタイムスリップ～（音楽編1）」	令和7年2月27日から5月9日	今なお歌い継がれている昭和の名曲のCD（男性ボーカリスト）を特集し貸出を行った。 実施場所：宮城県図書館音と映像のフロア
	2	ミニ展示「昭和100年記念～昭和時代にタイムスリップ～（音楽編2）」	令和7年3月16日から6月6日	今なお歌い継がれている昭和の名曲のCD（女性ボーカリスト）を特集し貸出を行った。 実施場所：宮城県図書館音と映像のフロア
	3	企画展「昭和百年 懐かしのベストセラー本とその時代」	令和7年6月7日から8月31日	昭和時代の背景に触れながら、各年代に多く読まれていた当館所蔵の本を紹介するとともに、1881年に宮城書籍館として開館し、様々な変遷を経て現在に至る当館の歴史資料を紹介した。 実施場所：宮城県図書館展示室
	4	ミニ展示「昭和100年～昭和を振り返る～」	令和7年7月4日から8月29日	昭和100年をテーマに、昭和のできごとに関する雑誌を展示した。 実施場所：宮城県図書館新聞・雑誌室カウンター付近
	5	ミニ展示「昭和100年記念～デビュー50周年の歌手～（音楽編3）」	令和7年8月9日から10月10日	今年50周年を迎えた8名の歌手のCDを特集し、貸出を行った。 実施場所：宮城県図書館音と映像のフロア
	6	宮城県公文書館企画展「追憶のみやぎー昭和の植樹祭ー」	①県庁展示 令和7年10月6日から17日 ②図書館展示 令和7年12月6日から令和8年3月1日	令和7年秋に宮城県初の育樹祭が開催されたことから、公文書館収蔵の記録写真の中から「昭和30年の植樹祭」に関する写真を展示資料として公開した。 実施場所：県庁2階回廊壁面（東側）、図書館2階展示室 実施主体：宮城県公文書館
	7	宮城県公文書館常設展「追憶のみやぎー昭和の植樹祭ー」	①図書館展示 令和8年4月7日から21日 ②公文書館展示 令和8年5月20日から令和9年4月末	令和7年秋に宮城県初の育樹祭が開催されたことから、公文書館収蔵の記録写真の中から「昭和30年の植樹祭」に関する写真を展示資料として公開する。 実施場所：図書館1階エントランス、公文書館2階回廊 実施主体：宮城県公文書館
	8	特別展「さくらももこ展」	令和8年4月18日から6月21日	漫画家、エッセイスト、作詞家、脚本家、翻訳家などの顔をもつ「さくらももこ」の全仕事を紹介する全国巡回展。 実施場所：東北歴史博物館 実施主体：東北歴史博物館・河北新報社・仙台放送
	9	テーマ展示「プレイバック！昭和の暮らし」	令和8年4月14日から8月30日	特別展「さくらももこ展」開催期間中に、作品の舞台となった昭和期に生きた人々の暮らしについて館蔵資料を用いて紹介するもの。 実施場所・主体：東北歴史博物館
秋田県	1	企画展「昭和のアキタ 百年の暮らしをつづる」	令和7年4月26日から6月15日	主に秋田県内での昭和の暮らしに焦点をあて、日常で使われた様々な道具や当時の様子を知ることができる貴重資料などを紹介する企画展を開催した。 実施場所：秋田県立博物館 企画展示室 実施主体：秋田県立博物館

団体名	番号	施策名	実施時期	施策の概要
秋田県	2	令和7年度 テーマ展示	令和7年6月5日から8月 5日	第1回展示「今年は昭和100年」 歴史・文化・暮らしの変化など、100年を振り返れる本や「100」にまつわる本の展示・貸出を行った。 実施場所：秋田県立図書館 実施主体：秋田県
	3	博物館教室 「60年前の秋田 モノや写真で 思い出を語り合う会」	令和7年10月4日、11月 22日 令和8年10月10日、11 月14日	60年ほど前に使われていた民具などを用いて、講師の指導のもと、参加者が懐かしい思い出を語り合った。 実施場所：秋田県立博物館 学習室 実施主体：秋田県立博物館 講師：秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻 准教授 浅野朝秋 氏
	4	昭和100年記念展「記録資料でた どる秋田の1世紀」	令和8年8月から11月	県と市町村（東成瀬村、大潟村）との連携展示。 実施場所：秋田県公文書館と県内市町村（東成瀬村、大潟村）の展示会場 実施主体：県と市町村（東成瀬村、大潟村）
山形県	1	山形県公文書センターにおける企 画展示	令和7年11月6日から12 月13日	山形県公文書センターにおいて、「激動の時代 昭和100年 ～歴史公文書に見る山形県の記録～」をテーマに、歴史公 文書で時代を振り返る企画展示を実施した。
	2	山形の戦争の歴史・モノと記憶の 継承事業	令和8年4月から	戦後80年を迎え、戦争を直接体験された方が減少し、遺族の高齢化が進む中、県内に残っている戦争に関する資料の散逸 が懸念され、資料の収集・保管、活用方法を検討していくことが喫緊の課題。戦争の記憶継承には、歴史を語り継いでい くだけでなく、実際の資料（戦地からの手紙・衣類等）とそれにまつわる記憶とともに次世代に伝えていくことが重要。 そのため、地域における戦争の悲惨さや平和の尊さを次代を担う若い世代に継承していくため、県内にある戦争にまつわ る資料に係る調査や、地域や学識者、若者などとともに戦争に関する資料の収集・保管、活用方法などの検討を行ってい く。
	3	県政150周年記念事業（県立博物 館 特別展）	令和8年5月22日から8 月30日	昭和期を含む県政150年について、山形県立博物館においてインフラ整備を主なテーマとする特別展の開催。
	4	県政150周年記念事業（山形交響 楽団による記念コンサート）	令和8年9月9日	山形交響楽団による県政150周年・昭和100年 記念コンサートの実施。
	5	県立図書館企画展示「激動の昭和 100年」	令和8年2月17日から 令和8年4月18日	昭和100年目になるのを契機に昭和時代を振り返るため、「山形の昭和」、「年表から振り返る昭和」、「昭和のベスト セラー」の3本立てで関連本等の展示を実施。 「やまがたの昭和」 →約30冊の郷土資料と24面の新聞記事で、起こった主な出来事を年代順に紹介。 「年表から振り返る昭和」 →全国で起こった主な出来事や、その当時流行した文化を年代順に紹介。 （約350冊） 「昭和のベストセラー」 →その当時のベストセラーの本を年代順に紹介。 （約240冊）
福島県	1	令和7年度夏企画展 「私たちの戦争体験－アジア・太 平洋戦争終戦80年－」	令和7年7月から9月	終戦80年、昭和100年の節目に、福島県民や県出身者が体験した戦争を振り返った。軍人が家族に送った軍事郵便や写 真、実際に身に着けた軍服を始めとする関係資料を紹介した。あわせて、近代の会津若松と若松連隊の歩みも取り上げ、 地域と軍隊の関係にもスポットをあてた。戦争体験者の語りを聞く機会が失われつつある今、博物館で戦争について考え た。
	2	特撮文化推進事業（特撮文化推進 事業実行委員会への参画）	令和8年1月から3月	昭和を代表する映像文化である「特撮」を日本の誇るべき文化として後世に受け継ぎ、これを通じて多様な価値を創出す ることを目的として設立した「特撮文化推進事業実行委員会」（福島県、福島県須賀川市などで構成）に参画し、同委員 会の主催により、特撮文化の継承、発展、創造へと繋がる事業（昭和100年を機とし、昭和期に活躍した特撮技術者への オールヒストリーや特撮アーカイブ資料の展示など）を実施する。
	3	「福島県政150周年記念事業特設 ウェブサイト」にて、昭和100年 ポータルサイトの周知	令和8年6月から12月	福島県政150周年記念事業を記念し、開設した特設ウェブサイトのお知らせにて、昭和100年ポータルサイトのリンクを 掲載し、周知する。
	4	特撮文化推進事業（特撮文化推進 事業実行委員会への参画）	令和8年7月から12月	昭和を代表する映像文化である「特撮」を日本の誇るべき文化として後世に受け継ぎ、これを通じて多様な価値を創出す ることを目的として設立した「特撮文化推進事業実行委員会」（福島県、福島県須賀川市などで構成）に参画し、同委員 会の主催により、特撮文化の継承、発展、創造へと繋がる事業（昭和100年を機とした特撮に関する検定やワークショッ プ開催など）を実施する。
	5	「大冒険！ウルトラマンARスタ ンプラリーinふくしま2026」と 連携した「福島県政150周年」及 び「昭和100年」の情報発信	令和8年7月から11月	福島県出身の円谷英二監督らが生み出したコンテンツであり、世界的な人気を誇るウルトラマンシリーズのIPを活用した デジタルスタンプラリー「大冒険！ウルトラマンARスタンプラリーinふくしま2026」（主催：ウルトラふくしま実行委 員会、開催期間：令和8年7月～11月末）と連携し、「ウルトラマンシリーズ60周年」と「福島県政150周年」を記念し て、「昭和100年」を機に『ウルトラマン』が放送開始された1966年（昭和41年）頃から2026年までの県史や、円谷英 二監督の功績などを振り返る情報発信やイベントを行う。
	6	福島県政150周年特別試合開催事 業	令和8年8年から12月	福島県内に5つあるプロスポーツチームのホーム公式戦において、冠マッチを開催し、節目の年を祝う機運醸成を目的と した取組（試合開始前のアナウンス、福島県政150周年を記念したノベルティの配布、試合開始前やハーフタイムで昭和 時代に活躍した古関裕而の楽曲演奏など昭和レトロ感のある演出）を行うほか、福島県政の150年の歩みを振り返るパネ ル展示などを実施する。
茨城県	1	アーカイブズの部屋「史料が語る 昭和の茨城」	令和8年10月10日から 12月6日	茨城に関する昭和時代の出来事や人々の生活を、行政文書、文書史料や写真などを用いて紹介します。 実施場所・主体：茨城県立歴史館
	2	アーカイブズ講座「昭和の行政史 料を読む」	令和9年1月24日	昭和時代の県内の出来事を、行政史料をつうじて参加者とともに考えます。 実施場所・主体：茨城県立歴史館

団体名	番号	施策名	実施時期	施策の概要
栃木県	1	特別企画展の開催	令和7年7月12日から8月31日	昭和100年を機に、特別企画展「とちぎ戦後80年～いま、おやと子で知る軍隊・戦争と栃木～」を開催した（関連事業として、記念講演会、シンポジウムを開催。）。 実施場所：栃木県立博物館 実施主体：栃木県
	2	資料展示の開催	令和7年7月25日から9月24日	ロビー展示「昭和100年・戦後80年記念展示 本でたどる昭和・平成・令和」として、昭和・平成・令和を栃木県立図書館の所蔵資料でたどる企画展示を開催した。 実施場所：栃木県立図書館 実施主体：栃木県
	3	テーマ展の開催	令和7年12月20日から令和8年3月29日	テーマ展「昔のこと知ってつけ？～道具を知れば暮らしが見える～」において、昭和100年に関連した展示を実施する。 実施場所：栃木県立博物館 実施主体：栃木県
	4	コレクション展の開催	令和8年1月10日から3月22日	コレクション展Ⅳ「激動の時代－昭和の絵画－」として、戦争・復興・経済成長により、社会と美術の流れが大きく変化した激動の64年である昭和時代を絵画でたどる。 実施場所：栃木県立美術館 実施主体：栃木県
	5	田母沢御用邸「皇后御学問所」、「謁見所室内」特別公開	①令和8年4月6日から5月10日 ②令和8年5月11日から31日	昭和天皇も静養地として利用していた田母沢御用邸において、通常非公開となっている①「皇后御学問所」及び②「謁見所室内」を、昭和100年を機に①、②の期間限定で公開する。 実施場所：日光田母沢御用邸記念公園 実施主体：栃木県
	6	中禅寺湖グラモフォンサロン（昭和にタイムスリップ 蓄音機が奏でる名曲鑑賞会）	令和8年9月1日～9月30日	昭和100年と英国大使館別荘記念公園開園10周年を機に、蓄音機によるジャズをメインとしたレコード鑑賞会を開催する。 実施場所：英国大使館別荘記念公園 実施主体：株式会社日光自然博物館
	7	昭和100年記念展示の開催	令和8年6月15日から令和9年6月中旬	「昭和の栃木県－文書と写真で見る人々の暮らし－」において、本県の歴史を振り返る展示を実施する。 実施場所：栃木県立文書館 実施主体：栃木県
	8	地域の記憶展（冬の企画展）	令和7年11月29日～令和8年4月12日	昭和期等の文献や遺物の展示などにより、奥日光地区の歴史的な背景を紹介する企画展を開催する。 実施場所：日光自然博物館 実施主体：株式会社日光自然博物館
	9	ベルギー王国別荘特別公開	令和8年7月3日、4日、5日	昭和3(1928)年の建築で、現在も使用されているベルギー王国大使館別荘を期間限定で特別公開する。 実施場所：ベルギー王国大使館別荘（日光市中宮祠） 実施主体：ベルギー王国大使館
	10	伝統工芸品指定40周年及び昭和100年記念伝統工芸品展	令和8年10月24日～令和8年12月27日	人間国宝を中心とした伝統工芸品のコレクション展および伝統工芸品ワークショップを開催する。 実施場所：栃木県立美術館 実施主体：栃木県
群馬県	1	ミニ展示「昭和のおまわりさん」	令和7年9月23日	令和7年秋の全国交通安全運動に伴うイベント会場での“旧制警察装備品等のミニ展示”及び“県警音楽隊による昭和楽曲の演奏”を実施した。また、ミニ展示では、昭和拝命の現役警察官が旧制警察装備品等の説明を行った。 実施場所：道の駅「中山盆地」
	2	子どものための特集展示「昭和の暮らし」	令和8年12月18日から令和9年3月7日	小学校3年生の社会科学習内容に基づき、昭和時代を中心とする生活道具及び当時の生活の場を一部再現して展示する。 実施場所・主体：群馬県立歴史博物館
	3	県警音楽隊派遣時の昭和の曲の演奏	令8年12月末まで	県警音楽隊派遣時に、企画内容や対象者に合わせ、昭和の時代の曲を演奏する。
	4	県警音楽隊「おまわりさんのふれあいコンサート」	令和8年2月21日	年に1度実施する県警音楽隊「おまわりさんのふれあいコンサート」において、昭和の時代の曲を数曲演奏する。
埼玉県	1	タイムスリップ1925	令和7年6月10日から11月16日	今から100年前の大正末期から昭和初期の社会や暮らしの様子を見た。
	2	令和7年度テーマ展Ⅱ 収蔵品展「昭和の暮らし－戦前・戦中・戦後－」	令和7年9月27日から令和8年1月12日	埼玉県平和資料館において、同館が所蔵する資料を中心に、昭和初期から太平洋戦争終戦直後における人々の暮らしに関わる資料を展示し、その移り変わりを紹介する。
	3	ミニ展示「比べて発見! 昭和100年と埼玉の現在」(埼玉資料)	①熊谷図書館埼玉資料室 令和7年10月25日から12月3日 ②熊谷図書館浦和分室（県立文書館内） 令和7年12月9日から令和8年1月31日	県立熊谷図書館3階埼玉資料室及び浦和分室（県立文書館1階）で、「現在」の埼玉県の人口、観光地、産業等の様子を知ることができる資料を展示する。また、2次元コードを掲示してデジタルライブラリーへの案内を行い、「100年前」の地域資料をデジタルで閲覧、展示資料との比較を行えるようにする。
	4	県民の日記念映画会「シネマラソン」	令和7年11月14日	県立久喜図書館視聴覚ホールで、昭和期の埼玉県における都市開発計画、民俗・祭りや地域の文学を取り上げた映画を上映した。（11:00～／14:00～／16:00～ 1日3回の上映）

団体名	番号	施策名	実施時期	施策の概要
埼玉県	5	選挙と議会	令和7年11月18日から 令和8年3月8日	普通選挙法100年にちなみ、議会や選挙のあゆみを振り返る。
	6	WEB資料展「比べて発見! 昭和100年と埼玉の現在」(埼玉資料)	令和7年12月9日から 終了未定	埼玉県立図書館デジタルライブラリーで、古写真やデジタル化資料を活用し、100年前の「過去」の埼玉県の人、観光地、産業等の様子を知ることができる資料を掲載する。
千葉県	1	「ミニ収蔵資料展 ラジオー2025年3月22日はラジオ100歳の誕生日ー」	令和7年3月から7月	昭和100年にあたる令和7年は奇しくもラジオ誕生100年にあたることから、「ミニ収蔵資料展 ラジオー2025年3月22日はラジオ100歳の誕生日ー」と題し、現代産業科学館が収蔵する国内外の放送黎明期のラジオを同館内に展示し、ラジオの歴史や技術の進歩について紹介した。 実施場所：千葉県立現代産業科学館
	2	令和7年度トピックス展「民俗学の父・柳田國男ー本から読み解く暮らしへのまなざしー」	令和7年4月15日から6月15日	昭和の時代に活躍し、令和7年で生誕150周年を迎えた民俗学者・柳田國男をテーマに、当館へ寄贈された柳田國男著作本初版コレクションをはじめ、調査中に発見された柳田直筆の原稿などを展示し、柳田國男と千葉の関わりなどを紹介する展覧会を実施した。 実施場所：千葉県立中央博物館
	3	資料紹介コーナー資料展示「プレイバック昭和100年」	令和7年8月16日から10月16日	昭和元年から100年目となることを記念し、昭和を連想させる所蔵資料の展示を行った。 実施場所：千葉県立東部図書館 資料紹介コーナー
	4	中央図書館新聞雑誌室展示「昭和100年～雑誌と新聞でめぐる昭和・平成・令和～」	令和7年9月26日から12月18日	県立図書館所蔵の雑誌創刊号や各時代を象徴する新聞記事等により「昭和100年」の記憶を辿る展示を行った。 実施場所：千葉県立中央図書館 3階閲覧室入口
	5	企画展「千葉県の「昭和」ー激動の1926～1989ー」	令和7年10月1日から令和8年2月28日	文書館収蔵の資料を中心として、昭和100年に因んだテーマで企画展示を行った。 実施場所：千葉県文書館 1階展示室
	6	令和7年度トピックス展「利根川の高瀬船」	令和7年10月11日から12月7日	令和7年3月に国の登録有形民俗文化財となった「利根川中下流域の川船及び関連用具」の中から、国内最大級の川船であった「利根川の高瀬船」について紹介する展覧会を実施した。利根川の高瀬船は昭和初期まで使用されており、当時の資料も展示した。 実施場所：千葉県立中央博物館
	7	「昭和レトロ」をテーマとした千葉の魅力を紹介するラジオ番組の放送	令和7年12月	千葉県が提供し、ペイエフエムが制作・放送するラジオ番組において、昭和100年を契機に「昭和レトロ」をテーマとした放送回を設け、昭和の魅力を感じられるスポット等を紹介した。
	8	西部図書館 展示「千葉県北西部の100年」	令和7年12月2日から令和8年3月31日	「千葉県北西部の100年」をテーマに、千葉県北西部の地域の写真集や、昭和史、企業や鉄道の歩み、スポーツ史、映画史など、時代の移り変わりを感じられる資料の展示を行った。 実施場所：千葉県立西部図書館
	9	「特設コーナー展示 昔の暮らしを支えた懐かしの電話機」	令和7年12月から令和8年3月	昭和100年に因み、主に昭和期に活躍した電話機を紹介する特設コーナー展示。「昔の暮らしを支えた懐かしの電話機」と題し、現代産業科学館が収蔵する昭和初期に使用された「磁石式卓上電話」をはじめ昭和末期に開発された「ショルダーフォン」など昭和の人々の暮らしを支えた電話機の数々を紹介する。併せて、電話がつながる仕組の変遷を電話機と共に振り返る。 実施場所：千葉県立現代産業科学館
	10	昔のくらし展	令和8年1月20日から4月19日	明治から昭和にかけて使われた生活用品などを展示する。 実施場所：千葉県立関宿城博物館
	11	「伝えたい千葉の産業技術100選」（千葉県の産業に貢献した技術や施設等を選定する事業）	令和8年3月	「伝えたい千葉の産業技術100選」と題し、県発展のターニングポイントとなった産業技術及び県内各地域での歴史的な役割を調査し、次世代への継承と、子どもたちが地域産業を学ぶための教育的な基礎資料とするため、産業技術の選定・普及を行っている。令和6年度までに昭和時代の産業技術関連45件を含む89件を選定。令和7年度についても、令和8年3月を目途に昭和時代に構築された産業技術などについて選定予定。 実施場所：千葉県立現代産業科学館
	12	巡回展示「プレイバック昭和100年」	令和8年6月	千葉県立東部図書館の資料展示コーナーで展示した「プレイバック昭和100年」の資料（昭和元年から100年目となることを記念した昭和を連想させる所蔵資料）の中から、巡回展示資料「プレイバック昭和100年」（90冊：終戦80年を迎えて、昭和史を振り返る、懐かしの暮らし、千葉県・昭和の歩み）を組み、長生村文化会館図書室に貸し出し、巡回展示を行った。
	13	「昭和」をテーマとした県広報番組の放送	令和8年6月6日	千葉県が企画し、千葉テレビが制作・放送するテレビ番組において、昭和100年を契機に「昭和」をテーマとした放送回を設け、昭和の魅力を感じられるスポット等を紹介した。
東京都	1	昭和百年～昭和の消防を振り返る～	令和7年11月1日から令和8年3月8日まで	昭和初期からの東京消防庁の歴史を振り返る企画展示を実施 実施場所：消防防災資料センター（消防博物館）
	2	東京都立多摩図書館6月定例映画会	令和8年6月7日	「映像で昭和の東京を懐古する」をテーマに、昭和の東京を記録した16ミリ映画フィルムによるドキュメンタリー作品を4本上映する。 実施場所：東京都立多摩図書館 2階 セミナールーム
	3	東京都立多摩図書館移転10周年記念 東京マガジバンク企画展示「昭和100年展ー雑誌が刻んだ記憶ー（仮）」	令和8年11月21日から令和9年3月3日まで	「昭和100年」を契機に、雑誌を通して昭和から平成、令和にかけての時代を振り返ることで、“時代の記憶装置”としての雑誌の特徴と魅力を広く知ってもらう。「昭和100年を振り返る（主なできごと）」「昭和100年のくらし」「昭和100年のエンターテインメント」と題したコーナーに分け、それぞれ特集記事や関連記事が掲載された雑誌を集めて展示する。 実施場所：東京都立多摩図書館 1階 展示エリア

団体名	番号	施策名	実施時期	施策の概要
神奈川県	1	神奈川県警察の「昭和100年」特別展示	令和7年8月18日から令和8年3月31日	昭和初期から昭和中期にかけての警察活動等を紹介したスライドを作成し、従来の展示品と合わせて、神奈川県警察本部施設見学者に向けた記念展示を実施する。
	2	「昭和100年」関連施策の周知用H Pの作成	令和7年10月22日公開	本県における「昭和100年」関連施策を県民に周知するため、庁内の取組一覧をまとめたホームページを作成し、総合政策課の所属ページに設置したほか、県のキャッチコピーを作成し、国のロゴデザインと合わせて広報することとした。
	3	県のたより特集号（12月号）	令和7年12月1日発行	「かながわの昭和100年 記憶の旅へ」を掲載することにより、「昭和100年」の機運の醸成を図る。
	4	昭和100年 日本の昔遊び体験展示	令和8年1月5日から31日	正月遊びを通じて日本の伝統を知る。 こま、かるた、福笑い等、パークセンター内に設置された遊び道具を開催期間中にどなたでも体験できる。 実施場所：神奈川県立三ツ池公園パークセンター
	5	企画展示「記録が語る昭和の戦争—公文書館資料でたどる—」	令和8年1月23日から3月29日まで	戦火を生き抜き、関係者が守ってきた戦前・戦中の貴重な資料により、戦時下の神奈川県の行財政やできごと、人々の生活などを振り返る。 実施場所：神奈川県立公文書館
	6	常設展「文学の森へ 神奈川と作家たち 第2部 芥川龍之介から中島敦まで」（併設：コーナー展示 没後50年 平井呈一）	令和8年1月31日から3月22日	芥川龍之介の衝撃的な死に始まる激動の時代、それぞれの生き方、文学の道を選んで活躍した中島敦らの作家を紹介する。 実施場所：神奈川県立神奈川近代文学館
	7	神奈川県立武道館広報物の作成	令和8年2月発行	昭和初期から続く神奈川県立武道館の沿革や施設案内等を記載したパンフレットを作成、頒布し、武道館の更なる利用を促進する。
	8	「昭和100年特別企画」昭和の宰相 吉田茂 その邸園の魅力を 知る 「旧吉田茂邸で学ぶ日本庭園勉強会」	令和8年2月1日	田中角栄、河野一郎の庭園他、多くの日本庭園を設計した造園家・中島健が作庭した旧吉田茂邸庭園で昭和時代に作られた日本庭園への理解を深める勉強会を行う。 実施場所：神奈川県立大磯城山公園
	9	昭和100年 谷の家 展示	令和8年2月4日から3月22日まで	谷の家において、「ひな壇飾り」、「吊るし雛」などの展示を実施する。 実施場所：神奈川県立茅ヶ崎里山公園
	10	映像アーカイブ ～昭和期の神奈川県～	令和8年2月6日から12月31日まで	昭和期の神奈川県を記録した貴重な映像資料へのリンクを、神奈川県HP内の昭和100年特設ページ内に掲載し紹介する。
	11	旧吉田茂邸庭園ガイド「昭和100年特別企画」旧吉田茂邸 特別庭園ガイド	令和8年2月7日から8日	庭園設計者である中島健が吉田茂の感性豊かな嗜好を存分に取り入れ作り上げた景色、風景の見方、味わい方のポイントのガイドを行う。 実施場所：神奈川県立大磯城山公園
	12	allかながわスポーツゲームズ 市町村対抗「かながわ駅伝」競走大会	令和8年2月8日	市町村対抗形式により実施される県内唯一の駅伝大会で、今回で80回を数える。ホームページや会場でのパネル展示を通じて、昭和と共に歩んできた大会の歴史を発信する。 実施場所：丹沢湖（足柄上郡山北町） 実施主体：allかながわスポーツゲームズ実行委員会ほか
	13	昭和100年 竹細工と昔の遊び	令和8年2月8日	園内にある竹を使った竹細工として竹ぼっくり作り体験に合わせ、コマ、羽根つき、竹馬等といった昔遊びを一緒に体験する。 実施場所：神奈川県立津久井湖城山公園
	14	令和7年度子どもフェスティバル・子ども会大会～昭和レトロを体験！わくわくを見つけよう！～	令和8年2月8日	令和7年度は「昭和」をテーマにして会場に懐かしい装飾や映像・音響等を施し、昔遊び、人形劇、工作体験、科学実験ショーなどをお祭り形式で実施する。 実施場所：神奈川県立青少年センター
	15	神奈川県温泉地学研究所設立当時の映像放映	令和8年4月1日から12月31日まで	神奈川県立温泉地学研究所1階展示スペースにおいて、研究所設立当時の様子や箱根での地震調査の様子を放映する。 実施場所：神奈川県温泉地学研究所
	16	昭和100年 草餅づくり体験	令和8年4月26日	地域の婦人連によるふるさと知らせ隊が講師となり、昔から地域に伝わる草餅づくりの体験会を開催する。 実施場所：神奈川県立津久井湖城山公園
	17	昭和を巡る 神奈川県庁	令和8年5月3日	毎年開催しているゴールデンウィーク県庁本庁舎公開で、今年は特別に「昭和100年」を記念するイベントを開催する。（昭和を振り返るパネル展、県立歴史博物館の出張展示、神奈川県銘菓の販売会、県警の出張ブース、昭和グルメのキッチンカー販売） 実施場所：神奈川県庁本庁舎
	18	常設展「文学の森へ 神奈川と作家たち 第3部 太宰治、三島由紀夫から現代まで」	令和8年6月6日から7月12日まで	敗戦直後の混沌を象徴する太宰治の死に始まり、戦後の繁栄と平和のなか自らの虚無に殉じた三島由紀夫、そして戦後という時代をエネルギーに駆けぬけた開高健らの作家を紹介する。 実施場所：神奈川県立神奈川近代文学館
	19	昭和100周年記念「初夏のバラ展」	令和8年5月16日から6月12日まで	昭和100周年記念事業として、県立恩賜箱根公園湖畔展望館前中央広場に100鉢のバラを展示する。その中で、“昭和”と“皇室”にゆかりのあるバラを集めたコーナーを設置することで昭和100周年の機運を醸成する。

団体名	番号	施策名	実施時期	施策の概要
神奈川県	20	コレクション展「鎌倉近代美術館」と昭和の作家たち	令和8年6月13日から8月30日	昭和100年を記念して、昭和期の名建築のひとつである旧神奈川県立近代美術館の関連資料とともに、同館で紹介された昭和期の作家たちによる名品を展示する。あわせて図書室で関連資料を紹介する。
	21	昭和100年企画展示「社史でたどる神奈川の昭和100年」	令和8年6月12日から10月7日	昭和100年に合わせ、神奈川県内の創業・設立100年を超える会社の社史から、県内の昭和の様子が分かる記載や写真を紹介する。
	22	鎌倉彫ふれあい展 ～見てたのしい 使ってたのしい～	令和8年6月26日から28日	100年以上の歴史を持ち、昭和54年に国から伝統的工芸品として指定された、「鎌倉彫」の展示・販売・実演を行う。また、参加者が自ら工芸品を制作できる体験イベントも開催する。
	23	令和8年度企画展示「二俣川100年の記憶 一駅とまちの歩み」	令和8年7月17日から～9月27日	開業100年を迎える相鉄線・二俣川駅の駅とまちの歩みを振り返る。
	24	令和8年度夏休み親子講座「二俣川駅開業100年」	令和8年7月25日、26日	県立公文書館で所蔵する歴史的公文書・古文書・写真・映像などの資料を使った、小学生向けの歴史講座を開催する。
	25	昭和100年記念特別展「昭和と金沢文庫」	令和8年7月25日から9月13日	県立金沢文庫は、神奈川県が昭和天皇の御大典記念事業として開館した社会教育施設であり、昭和とともに歩んだ金沢文庫の活動の歴史を、展覧会の形で紹介する。
	26	KOUGEI EXPO in KANAGAWA の開催	令和8年11月7日～9日	100年以上の歴史を誇る全国の伝統的工芸品が一堂に会する全国最大級のイベント。職人の制作実演や販売等が行われる。今回は伝統的工芸品に縁のある芸能人によるトークショーやアニメコラボといった新しい試みも行う。
新潟県	1	県政記念館改修工事	令和7、8年度（予定）	明治16（1883）年に新潟県議会旧議事堂として建設され、昭和7（1932）年まで使用された後、昭和44（1969）年に重要文化財に指定された新潟県政記念館の耐震改修工事を実施。
	2	民俗文化財調査事業	令和7年度から令和8年度	昭和期を含め、これまで県内各地で受け継がれてきた祭り・行事が、少子高齢化・過疎化等により継承の危機にあることから、今後の文化財指定や継承に向けた施策立案の基礎資料とするため、3年計画で現状を把握する悉皆調査を実施。R7年度：実地調査、R8年度：実地調査、調査報告書刊行
	3	「新潟の食文化」調査・継承事業	令和7年度	少子高齢化、生活様式や嗜好の変化、冷蔵・冷凍技術や物流の発達により、昭和期を含め、これまで県内で受け継がれてきたものの、継承が危ぶまれている保存食製造技術や保存食を使った越冬料理を継承するため、実態把握調査を実施し、県内外に向けた情報発信を行う。調査対象（越冬料理）：干し大根漬け、煮菜、飯ずし
	4	新潟県立歴史博物館夏季テーマ展示「戦後80年 私の戦争体験記－銃後の日々－」	令和7年7月12日から8月24日	戦後80年（昭和100年）を節目に、戦争が多くなびとにとってどれほど身近なできごとで自分事であったのか、直接の戦場ではない後方、とくに県内の様子を中心に紹介するテーマ展示を実施した。 実施場所：新潟県立歴史博物館企画展示室 実施主体：新潟県立歴史博物館
	5	国・県指定等文化財一斉公開事業	令和7年10月1日から31日	県内の国・県・市町村指定等文化財や日本遺産等を、市町村や文化財所有者、保存会等と連携して一斉公開した。国指定重要文化財や国登録有形文化財では、昭和に建築された建物や砂防堰堤などの公開も行われた。
富山県	1	昭和100年・戦後80年特集～郷土のあゆみをたどる～	令和7年度	昭和100年を機に、県映像センターが所蔵しているGHQ提供16mmフィルムや県民提供の16mm、8mmフィルム等の貴重映像をDVD化して貸し出し、地域の活動や家庭で今では見ることができない「昭和～平成時代」の富山を学ぶ機会をした。
	2	戦後80年 日本の様々な歩みから映像で学ぼう！！「わくわくシアター」	令和7年5月から令和8年3月	県映像センターが所蔵している作品の中から、毎月選りすぐりの映像作品を上映する一般県民向けのシアター。今年度は戦後80年かつ昭和100年の節目。これまでの日本の歩みをいろいろな側面から学べる映像作品をした。
	3	戦後80年企画の映像制作	①令和7年6月1日から11月12日 ②令和8年2月	①昭和100年、戦後80年を機に、戦争を知らない次世代に戦争の悲惨さや平和の尊さを広く語り継いでいくため、富山大空襲や戦争を語り継いでいく活動に焦点を当てた映像を制作した。（令和7年6月1日～令和7年11月12日） ②映像DVDを複製し、県内図書館に配布した。（令和8年2月）
	4	パネル展示「昭和100年～富山県警察の歴史を振り返る」	令和7年6月16日から令和8年3月31日	昭和100年を機に、来庁者の警察業務に対する興味関心を惹きつけ、理解を深めることを目的に、警察本部庁舎1階アトリウムに展示スペースを設け、昭和初期から中期に使用していた制服や白バイ、本部庁舎竣工等の写真パネルを展示し、一般来庁者や庁舎見学者に公開した。
	5	戦時下の暮らし展	令和7年8月9日から17日、10月2日から5日	昭和100年、戦後80年を機に、例年開催している「戦時下の暮らし展」を戦後80年事業として期間・会場を拡大して実施した。 昭和期の戦時中の資料の展示を行い、次世代へ戦争体験の伝承を図った。
	6	警察音楽隊定期演奏会「おまわりさんの演奏とドリルの祭典」における、昭和100年に馴染む楽曲の披露	令和7年9月21日	昭和100年を機に、年に1度開催している、警察音楽隊定期演奏会「おまわりさんの演奏とドリルの祭典」において、「昭和100年」をテーマとしたプログラムを構成し、昭和を代表する楽曲や昭和をイメージできる楽曲（アニメソングや演歌・歌謡曲等）を演奏した。また、ドリル演奏においても「昭和を代表する歌謡曲」をふんだんに使い、懐かしさと哀愁漂う華麗なドリル演奏で、観客を魅了した。
	7	企画展示「昭和100年～昭和レトロをふりかえる～」	令和7年10月7日から11月9日	昭和100年を機に、富山県立図書館が所蔵する、昭和の歴史や文化に関する資料や、昭和時代にベストセラーになった本などの展示・貸出を行った。 実施場所：富山県立図書館

団体名	番号	施策名	実施時期	施策の概要
富山県	8	映像制作の現場から学ぶ『作戦任務307～富山大空襲60年目の検証～』を視聴	令和7年11月15日	県映像センターが主催する生涯学習講座。昭和100年を機に、富山大空襲をテーマとしたドキュメンタリー番組（2005年KNB放送）を視聴し、映像作品の制作に長く携わってきた講師から制作にかける思いや技術を学ぶ機会を提供した。
	9	富山県成長戦略カンファレンス「しあわせる。富山」での 昭和100年記念セッションの実施	令和8年3月21日	昭和100年を機に、富山県で開催しているカンファレンスイベント 「しあわせる。富山」における特別セッションとして、昭和100年を記念したセッションを実施予定。「昭和100年 我々は何を壊し、何を残したか ～ 昭和から学び、変動の時代を切り拓く～」をテーマに、昭和100年を生きた先人たちの経験から現代の変動の時代を生き抜くための「時代を超えた大事なこと（実践知）」をセッションで探った。
	10	昭和100年～郷土のあゆみをたどる～	令和8年度	昭和100年を機に、県映像センターが所蔵しているGHQ提供16mmフィルムや県民提供の16mm、9mmフィルム等の貴重映像をDVD化して貸し出し、地域の活動や家庭で今では見ることができない「昭和～平成時代」の富山を学ぶ機会を提供する。
	11	警察音楽隊定期演奏会「おまわりさんの演奏とドリルの祭典」における、昭和100年に馴染む楽曲の披露	令和 8 年 9 月26日	昭和100年を機に、年に 1 度開催している、警察音楽隊定期演奏会「おまわりさんの演奏とドリルの祭典」において、「昭和100年」をテーマとしたプログラムを構成し、昭和を代表する楽曲や昭和をイメージできる楽曲（アニメソングや演歌・歌謡曲等）を演奏する。
	12	音楽隊派遣演奏時に「昭和を代表する楽曲」を演奏し披露	令和8年12月までの間	昭和100年を機に、警察音楽隊が行事出演する際、その行事における開催趣旨や参加者等の年代に合わせて、昭和を代表する楽曲（アニメソングや演歌・歌謡曲等）を、場合によっては歌を交えた演奏にて披露する。
石川県	1	県立歴史博物館常設展示	令和7年度から令和8年度	昭和初期の金沢を中心としたモダニズムと大衆文化の展示、戦中戦後の資料展示、高度経済成長期のくらしを体感できる展示コーナーなどを設置し、動画の上映などをあわせて昭和期のいしかわを振り返る。
	2	2025年・戦後80年-戦争の記憶-	令和7年7月15日から8月31日	昭和100年、戦後80年となる今夏、あの時代を振り返るとともに、今日も世界各地で繰り返される「戦争・紛争」に関する本を紹介した。
福井県	1	①一般特集コーナー「昭和100年」 ②子ども室ミニ特集「昭和100年 おじいちゃん、おばあちゃんが生まれた時代」 ③郷土資料コーナー「昭和時代 福井と鉄道」（仮）	①令和7年7月18日から11月26日 ②令和7年6月29日から8月27日 ③令和7年10月24日から令和8年1月21日	①昭和の時代を振り返る参考になる本を特集した。（県立図書館 貸出返却カウンター前） ②昭和の歴史、暮らし、道具の本など、おじいちゃんたちが生まれた昭和時代を知る本を特集した。（県立図書館 子ども室） ③今は見ることができない、昭和時代の福井県を支えた鉄道路線を展示。（県立図書館 郷土資料コーナー前）
	2	パネル展＆本の特集 「若狭路の昭和100年/戦後80年」	令和7年7月18日から8月27日	嶺南地域におけるの昭和時代の写真や戦争関係の記録などをパネルで紹介し、本の特集を実施した。 実施場所・主体：若狭図書学習センター
	3	①「福井の文学でたどる昭和百年」 ②「おしどり文学館協定 昭和100年津村節子と吉村昭」	①令和7年7月18日から9月28日 ②令和7年9月30日から11月26日	①福井ゆかりの作家による、昭和の時代を象徴する文学作品を紹介した。（ふるさと文学館） ②おしどり文学館協定締結記念日の11月5日にあわせ、昭和初期に生まれた二人とその作品について紹介した。（ふるさと文学館 タイムリースポットおよび周辺エリア）
	4	教育博物館企画展 「教科書で見る昭和100年（仮）」	令和7年9月13日から12月14日	令和7年は昭和改元100年にあたるが、教科書にはこの間の世相や出来事が反映され教材化されたものが多数あり、今回、教科書から時代を象徴する文章や資料を取り上げ、世の中の変遷を紹介する企画展を開催した。
	5	①「戦後の福井県のあゆみ」 ②企画展示「昭和100年関連展示 戦時下の銃後のくらし」 ③「福井県昭和100年のあゆみ」（仮） ④「写真から振り返る昭和史」（仮）	①令和7年9月19日から令和8年7月15日 ②令和8年5月29日から7月15日 ③令和8年9月18日から ④令和8年9月18日から11月18日	①昭和20年以降の県政に関する写真のタペストリーを展示した。（文書館 閲覧室） ②主に日中戦争期から終戦までの銃後の暮らしについて、学校教育・精神総動員・物資・財政・満蒙開拓・防空と疎開など6つテーマにわけて展示した。（文書館 閲覧室） ③昭和元年から現在まで、各年の主要なイベント写真を集約したタペストリーを展示。（文書館 閲覧室） ④昭和時代の写真で当時の生活をふりかえる展示。（文書館 閲覧室）
	6	福井ライフ・アカデミー主催講座 ふるさと未来講座（歴史）	未定（令和7年度中）	昭和100年を機に、福井の未来を担う人材の育成を重視した公共性の高いテーマによる講座の開設。 実施場所：福井県生活学習館 実施主体：福井県生涯学習センター
	7	若狭歴史博物館 教育普及事業	令和7年12月20日から令和8年3月15日	昭和100年を機に、博学連携プログラム「ちょっとむかしのくらし展」において、井田家旧蔵古写真および写真に関連する現物資料を展示し、大正から昭和にかけてのくらしの変遷を紹介。
	8	福井県立美術館 ①コレクション展 昭和100年記念「残映ランドスケープ」 ②テーマ展「昭和100年・生誕160年記念 島田墨仙 ―福井生まれの歴史人物画の巨匠―」	①令和8年 3 月27日～5月10日 ②令和8年5月13日～6月7日	①昭和の風景画・山水画を紹介 ②令和8年は近代福井の美術を語る上で欠かせない日本画家・島田墨仙（しまだ・ぼくせん 慶応3～昭和18）の生誕160年であるとともに、昭和100年の節目の年にあたる。それを記念し、昭和期に輝きを放った墨仙と、画家であった島田家の人々を、作品や時代背景とともに紹介した。 実施場所・主体：福井県立美術館
	9	公募写真展 あなたが見つけた街かどの昭和	令和8年5月15日から10月12日	福井県内の街かどに残る昭和期のもの（建築物や構造物、石碑、昭和の先人をかたどった銅像・石像などの造形物など）の写真を県内外から広く募集し、印刷して展示 実施場所・主体：福井県立歴史博物館
	10	特別展開催事業	令和8年7月から10月頃	昭和期を中心とした、こどもたちの暮らしぶりを紹介する写真展。 実施場所：福井県立こども歴史文化館 1 階「みんなのギャラリー」 実施主体：福井県立こども歴史文化館、福井県立歴史博物館連携

団体名	番号	施策名	実施時期	施策の概要
福井県	11	特別展 福井の昭和「百年」史	令和8年8月1日から 10月12日	昭和とそれに続く平成・令和の100年間を展示で振り返り、現在の私たちにとって「昭和」という時代とは何だったのかについて考える機会とする。 実施場所・主体：福井県立歴史博物館 ※特別展に関連した講座等を実施予定
	12	嶺南出張展示「教科書で見る 昭和100年」（仮）	令和7年9月から12月	令和7年9月～12月に教育博物館で開催する企画展の内容を厳選し、嶺南地域において出張展示を開催。
	13	教育博物館開館10年記念特別展 「昭和100年 学校のあゆみ」（仮）	令和8年11月から令和9年3月	教育博物館開館10年にあたる令和8年は、昭和100年にあたることから、昭和期の学校教育の変遷を振り返り、その変容を展示する特別展を開催し、本県教育の貴重な功績を次代へつなげる。
	14	福井ライフ・アカデミー主催講座 ふるさと未来講座（歴史）	未定（令和8年度中）	昭和100年を機に、福井の未来を担う人材の育成を重視した公共性の高いテーマによる講座の開設。 実施場所：福井県生活学習館 実施主体：福井県生涯学習センター
	15	昭和100年記念展示「福井の昭和の歩み（仮）」	令和8年度中	福井県の昭和時代に関する資料や写真を展示。（文書館 閲覧室）
	16	文書館講演会「福井の昭和史」	令和8年度中	歴史研究者を講師とし、福井の昭和史に関する講演会を開催。（県立図書館 多目的ホール）
	17	昭和の画像登録促進によるデジタルアーカイブ福井の充実	令和8年度中	デジタルアーカイブ福井の参加機関に昭和の画像の登録を促し、登録された画像をデジタルアーカイブ内でまとめて公開。（文書館）
	18	郷土資料コーナー「ふくい図書館 昭和編」（仮）	令和8年度中	県立図書館を中心に、昭和時代の県内の図書館を紹介。（県立図書館 郷土資料コーナー前（仮））
	19	昭和100年記念 ちょっとむかしのくらし展「古写真に写された若狭の人々と民俗」	令和7年12月20日から 令和8年3月15日	昭和100年を機に、明治末から昭和30年代にかけて若狭地域の暮らしや風習を写した古写真を厳選し、その古写真に写り込む実物資料を展示することで、当時の若狭地域の生活や文化をより深く知ることができる機会となった。 実施場所・主体：福井県立若狭博物館
山梨県	1	警察音楽隊ふれあいコンサート	令和7年11月22日	警察音楽隊ふれあいコンサートにおいて、昭和初期から令和に至るまでの各年代で親しまれた楽曲を演奏し、昭和100年の歩みを音楽で振り返った。
	2	特設展「昭和文学をふり返る一收藏資料より」	令和8年4月25日～6月14日	昭和時代の文学を小説に絞って紹介した。芥川龍之介・谷崎潤一郎・山本周五郎・林芙美子・太宰治・檀一雄・津島佑子・李良枝などの直筆原稿や書簡に加え、図書・雑誌などの收藏資料を中心に展示。 実施場所：山梨県立文学館展示室 実施主体：山梨県立文学館
	3	やまなしの昭和の記憶収集事業	令和8年度中	昭和を生きた人々の時間を射程として、その記憶と記録を写真やテキストで県民から収集、アーカイブ化し山梨県立博物館ホームページを中心に随時公開する。 実施主体：山梨県立博物館
長野県	1	長野県150周年記念事業	令和7年7月から令和8年12月	明治9年に長野県は現在の形となり、令和8年には150周年の節目の年を迎える。 令和8年中に予定している、昭和期を含む明治から現在までの150年を振り返る150周年記念事業として、県が主体となりロゴの制作、特設WEBサイトの構築、ショートムービーの作成、メディアと連携した情報発信を実施。 150周年の記念日である、令和8年8月21日には長野県150周年記念祭典を計画。
	2	月イチ書庫ツアー：長野県150周年スペシャルバージョン	令和8年1月から令和8年12月	県立長野図書館において、100年以上にわたって収集してきた郷土資料のみを保存しているフロアに特化して自由に見学できる特別な書庫ツアーを開催。 各月15日に実施しており、現時点で37名が参加済。
岐阜県	1	岐阜県歴史資料館 企画展「占領下の岐阜県 一戦後社会の胎動一」	令和7年10月14日から 11月28日	占領期（1945～1952）の、岐阜県における戦災復興や民主化の様子などを公文書や個人の文書から紹介した。 実施場所：岐阜県歴史資料館1階展示ホール 実施主体：岐阜県歴史資料館
	2	岐阜県博物館 昭和のくらしとあそび	ミニ企画展示：令和7年10月15日から令和8年3月31日 体験教室：令和8年1月18日	昭和100年を記念して、博物館が収蔵する資料の中から、昭和のくらしの道具を展示するミニ企画展示を行う。また体験教室では、旧徳山村民家においてカルタやけん玉などの昔遊びを行う。 実施場所・主体：岐阜県博物館
	3	岐阜県歴史資料館 昭和100年特別展示 昭和の岐阜県知事 金澤正雄（仮）	令和8年12月（予定）	昭和100年を記念して、昭和2～3年に岐阜県知事を務めた金澤正雄に関する資料を紹介する。 実施場所：岐阜県歴史資料館1階展示ホール 実施主体：岐阜県歴史資料館
	4	岐阜県博物館 マイミュージアムギャラリー展示「熱虫!夢虫!!本・グッズ 漫画コレクション!!」	令和8年9月5日（土）から令和8年10月4日（日）	個人などによって収集・所蔵されているコレクションを公開展示するマイミュージアムギャラリー展示。その一つとして、昭和を代表する手塚治虫作品に関する本や文房具、ゲームや衣料品など、多くのグッズを紹介する展覧会を行う。 実施場所・主体：岐阜県博物館

団体名	番号	施策名	実施時期	施策の概要
岐阜県	5	岐阜県博物館 マイミュージアムギャラリー展示 「鉄道コレクションと明治、大正、昭和の今」	令和8年4月11日 (土) から令和8年5月10日(日)	個人などによって収集・所蔵されているコレクションを公開展示するマイミュージアムギャラリー展示。その一つとして、昭和100年を契機とし、昭和を中心とした鉄道に関するコレクションを紹介する展覧会を行う。 実施場所・主体：岐阜県博物館
	6	岐阜県博物館 昭和のくらしとあそび	令和8年度中 体験教室：令和9年1月17日(日)	昭和100年を記念して、博物館が収蔵する資料の中から、昭和のくらしの道具を展示するミニ企画展示を行う。また体験教室では、旧徳山村民家においてカルタやけん玉などの昔遊びを行う。 実施場所・主体：岐阜県博物館
	7	岐阜県公共図書館協議会 共通テーマ資料展示「昭和100年」	令和8年度9月・10月頃	岐阜県公共図書館協議会（事務局：岐阜県図書館）に加盟する県内公共図書館等が、「昭和100年」を共通のテーマとして資料展示を実施する。 実施場所：岐阜県内公共図書館等 実施主体：岐阜県公共図書館協議会
愛知県	1	愛知県図書館資料展示 (「@ライブラリー」参加企画) 「経済でたどる昭和100年」	令和7年9月12日から12月10日	愛知県図書館の所蔵資料のうち、昭和の経済トピックス(高度経済成長や石油危機など)を読み解く内容の図書を展示、貸出を行った。また、昭和年代を代表する愛知県内企業の社史をピックアップし展示、貸出を行った。 実施場所：愛知県図書館(4階) 実施主体：愛知県図書館
	2	愛知県図書館視聴覚資料展示 (「@ライブラリー」参加企画) 「流行歌で振り返る「昭和」	令和7年9月12日から11月12日	愛知県図書館の所蔵資料のうち、昭和の流行歌に関するCD等を展示、貸出を行った。 実施場所：愛知県図書館(1階AV室) 実施主体：愛知県図書館
	3	県内図書館共通イベント「@ライブラリー昭和(改元100年)」	令和7年10月10日から令和8年5月8日	県内の複数の図書館が、設定された期間内で、同一のテーマのもとに展示などのイベントを行う事業を実施する。今回は「昭和(改元100年)」をテーマとする。 実施場所：愛知県内図書館各所 実施主体：愛知県公立図書館長協議会 事務担当：愛知県図書館
三重県	1	「戦後80年平和のつどい」の開催	令和7年8月1日	戦後80年かつ昭和100年を契機に、県内中高生が中心となって平和への想いを発信する「戦後80年平和のつどい」を開催。平和作品の朗読などを実施した。 実施場所：県総合文化センター中ホール 実施主体：三重県
	2	「平和に関する企画展2025」(被爆・戦争関連資料の展示)の開催	令和7年8月8日から29日	戦後80年かつ昭和100年を機に、原爆の影響等を説明した資料や、広島に投下された原子爆弾の実物大ポスターを展示するとともに、当時の兵士の携行品・遺留品等の県内戦争関係資料の実物を展示した。 実施場所：三重県総合博物館(M i e M u)3階 学習交流スペース 実施主体：三重県
	3	「平和に関する企画展2025」(高校生による活動発表会)の開催	令和7年8月24日	戦後80年かつ昭和100年を機に、被爆前後の白黒写真をカラー化する活動についての講演及び写真の展示を行った。また、三重県及び広島県の高校生等による、平和に関する活動発表や意見交換を実施した。 実施場所：ハートプラザみその 実施主体：三重県
	4	平和啓発に係る県ホームページの改良	令和7年度	戦後80年かつ昭和100年を機に、平和啓発に係る情報にアクセスしやすいよう、県ホームページの改良を実施。 実施主体：三重県
	5	三重県誕生150周年記念事業	令和7年度	令和8年4月に三重県が誕生から150周年を迎えるにあたり、昭和期を含む明治から現在までの先人たちが築き上げてきた歴史に学び(温故知新)、県民の一体感・地域の絆を高めるため記念事業を実施。(150周年に係るHPでの情報発信、記念動画の作成、イベントの実施など)
	6	「平和に関する企画展2026」(被爆・戦争関連資料の展示)の開催	令和8年8月	原爆の影響等を説明した資料や、広島に投下された原子爆弾の実物大ポスターを展示するとともに、当時の兵士の携行品・遺留品等の県内戦争関係資料の実物を展示する。 実施場所：三重県総合博物館(M i e M u)3階 学習交流スペース 実施主体：三重県
	7	「平和に関する企画展2026」(高校生による活動発表会)の開催	令和8年9月	三重県及び広島県の中高生等による、平和に関する活動発表や意見交換を実施する。また、ゲスト講師による歌を交えた講演や戦争に関する資料の展示等も行う。 実施場所：ハイトピア伊賀 実施主体：三重県
	8	戦争体験者の証言動画の周知強化	令和8年度	戦後80年を機に作成した県内戦争体験者の証言動画を、より多くの方に見ていただけるよう、SNS等を通じて周知する。 実施主体：三重県
滋賀県	1	資料展示 「What's昭和?～1926-1989 戦前・戦中・戦後の昭和～」	令和7年12月5日から27日	1926年12月25日から1989年1月7日までの期間に生じた出来事、そしてそれを体験してきた人々の歴史や業績を、さまざまな図書を通じて振り返り、その今日的意義を再考する展示を行う。 実施場所：滋賀県立図書館 2階一般資料室 実施主体：滋賀県立図書館
	2	昭和100年記念展 「新聞記事からみえた百年前の湖国」	令和8年2月24日から5月21日	新聞記事を中心に政党政治や悠紀斎田、琵琶湖観光、水産業、児童福祉を題材に昭和戦前期の湖国を紹介する。 実施場所：公文書館展示コーナー 実施主体：滋賀県立公文書館
	3	「令和の語り部」育成プログラム構築事業	令和7年度から令和8年度	将来にわたって戦争の記憶を継承するため、戦争を実際に経験した語り部の思いを引き継ぎ、次の世代へ届けられる知識や技術を身につけた「令和の語り部」を育成するプログラムの構築等を行う。 実施場所：滋賀県平和祈念館 実施団体：滋賀県
	4	滋賀の文化財講座 花湖さんの打出のコツチ 第3回 昭和100年の書画	令和8年7月15日	昭和という激動の時代、芸術における新しいカタチを模索しようとした人びとがいた。昭和36年の琵琶湖文化館開館を彩った「ここ百年書讀」展をオマージュし、昭和100年に生きた人びとの書蹟を紹介する。

団体名	番号	施策名	実施時期	施策の概要
滋賀県	5	信楽窯業技術試験場創立100周年記念事業	令和9年2月	昭和と共に歩んできた信楽窯業技術試験場創立100周年を、業界活性化と地域創生の大きなきっかけと位置づけ、歴史と技術を再発信し、地域連携イベントを通じて信楽焼の未来を切り開くことを目的とする。 ●シンポジウムの開催（仮）「信楽焼の新たな100年へ」 実施場所：滋賀県立陶芸の森 信楽産業展示館ホール 主催：信楽窯業技術試験場創立100周年記念事業実行委員会
京都府	1	京都府立図書館資料のケース展示「戦後80年 図書館と戦争」	令和7年7月25日から9月24日	昭和100年を期に、戦中・戦後の図書館に注目し、戦時下の出版物の検閲・統制などの様々な制約や、占領下の京都に設置されたクルーガー図書館等を紹介した。 実施場所・主体：京都府立図書館
	2	京都環境フェスティバル	令和8年2月11日	「京都環境フェスティバル2026」において、 ①出展ブースの一部で、昭和と関連する環境問題をテーマに展示物等を作成し、掲示する。 ②昭和から令和までの環境問題をめぐる会場内クイズラリーを実施する。
	3	展示（1928京都・博覧会と御大典）	令和8年秋頃	昭和3年11月10日京都で举行された天皇の即位礼に関連した御大典と博覧会を中心に、昭和の始まり頃の京都に関する写真等の資料を展示する。※内容については現在検討中 実施場所：京都学・歴彩館 実施主体：京都府
	4	昭和100年記念 鉄道今昔物語事業	令和8年5月から12月（予定）	府内鉄道の主要駅や沿線の景観等の現在と昭和時代を比較する写真展をブックに、府内各地のPRを行い誘客促進を図る。第1弾として、京都鉄道博物館において写真展を実施（令和8年5月16日～7月12日）。第2弾以降として、「第43回全国都市緑化フェアin京都丹波」や「森の京都QRトレイン」のPRイベント等での実施を検討中。
	5	100年前の京都の観光を語るシンポジウム	令和8年度（予定）	昭和初期の京都は、天橋立・平等院・祇園・清水寺などの名所がすでに全国的な観光地として確立し、市電や鉄道網が整備され、近代観光都市として発展した時期である。本シンポジウムでは、100年前の京都の観光の姿を多角的にひもとき、観光レガシーの視点から、令和の京都観光の未来像を探ることを目的とする。
大阪府	1	戦争体験談動画制作	令和7年4月から7月	戦没者遺族等の話を聞き、動画に残した。その動画を追悼式の会場で上映及び実施主体の大阪府、大阪市及び堺市のHPに掲載した。 実施場所：追悼式会場、HP 実施主体：大阪府、大阪市及び堺市
	2	大阪府立上方演芸資料館企画展示	令和7年10月から令和8年3月	昭和100年を記念し、昭和を生きた演芸人の衣装や小道具、楽屋裏でその活動を支えた愛用品などを通して、「昭和レトロ」を感じていただきながら、昭和の演芸人たちの活躍を振り返ることができる展示を実施。 実施場所・主体：大阪府立上方演芸資料館
	3	特別展	令和8年1月から2月頃	大阪の医学と医療の100年を振り返るテーマで特別展を実施。 実施場所：大阪府立中之島図書館3階展示室 実施主体（共催）：大阪府立中之島図書館/指定管理者ShoPro・長谷工・TRC共同事業体
	4	企画展示	令和8年4月から令和9年3月末	大阪府公文書館所蔵資料から昭和期の大阪を振り返るをテーマに企画展示を上期と下期で実施。 上期：「所蔵資料にみる昭和時代の大阪府－戦前編－」 下期：「所蔵資料にみる昭和時代の大阪府－戦後編－」（仮） 実施場所：大阪府公文書館 実施主体：大阪府
兵庫県	1	兵庫県立兵庫津ミュージアムでの昭和100年関連特別展示	令和8年4月25日から6月21日	100年前のひょうご五国（摂津・播磨・但馬・丹波・淡路）に関する写真と伝統工芸品等の展示。
奈良県	1	昭和100年記念・「万葉の日」記念講演会	令和8年9月20日	当館の開館25周年にあたることから、「昭和100年」記念および世界遺産候補「飛鳥・藤原の宮都」ゆかりの、昭和期の「飛鳥・藤原」研究をテーマとした「万葉の日」（開館記念日）記念講演会を開催。 実施場所・主体：奈良県立万葉文化館 講師：中西進氏（万葉文化館初代館長・文化功労者・文化勲章受章）
	2	昭和100年企画「新収蔵記念／生誕140年 富本憲吉と昭和」	令和8年9月19日から11月15日	奈良県立美術館のコレクションから、大正～昭和に活躍した奈良県安堵町出身の陶芸家・富本憲吉（1886―1963）の作品を展示。昨年度に寄贈された33件の作品を初公開するとともに、昭和100年企画として、昭和時代の富本の作品と活動に注目し、時代的な背景を考察することを試みる。関連イベントとしてギャラリートーク（2回）と美術講座（1回）の実施を予定。
	3	なら歴史芸術文化村「文化財保護のキセキ～昭和から令和の担い手たち～」	令和8年10月24日から11月29日（予定）	なら歴史芸術文化村では、修復工房で行われた文化財修理記録の映像を通して、文化財を守る技術や人びとに焦点を当てる。また奈良県行政文書（県指定）に含まれる昭和の修理記録等も紹介し、昭和から現在（昭和100年）に至るまでの文化財修理の担い手たちにも注目していく。 実施場所：なら歴史芸術文化村 文化財修復棟・展示棟 地下一階展示室、主体：なら歴史芸術文化村
	4	橿原文化会館自主事業「狂言公演」	令和8年11月27日（予定）	昭和100年という節目にあたり、昭和・平成・令和の三時代を通じて古典芸能界を牽引してきた「万作の会」による狂言公演を開催。昭和に入り、さらに昇華した芸の伝統を振り返りつつ、現代に息づく狂言の魅力を発信する。 実施場所：奈良県橿原文化会館 大ホール 実施主体：奈良県橿原文化会館 出演：野村萬斎氏ほか、「万作の会」一門
	5	千田稔館長公開講座「図書館劇場XXI」第1幕	令和8年5月24日	奈良県立図書情報館の館長とゲスト講師による講演会。映像作家の映像と、フリーアナウンサーによる図書の朗読を「昭和100年」をテーマに開催。 実施場所：図書情報館1階交流ホール 実施主体：奈良県立図書情報館
	6	図書展示「本が語る100年－昭和100年」	令和8年12月（予定）	昭和元年から令和8年（昭和100年）まで各年の代表的な出版物2冊と、各年に出版された本の中から司書が独自の視点で2冊を選び、紹介する展示を行う。 実施場所・主体：奈良県立図書情報館

団体名	番号	施策名	実施時期	施策の概要
和歌山県	1	南方熊楠記念館開館60周年記念式典への後援	令和7年11月16日	昭和40年に開館した南方熊楠記念館が60周年を迎える節目の年となることを記念し、荒俣宏名誉館長による南方熊楠に関する講演を行うとともに、昭和40年から現在に至るまでの、昭和を代表する建造物でもある記念館の歴史について、有識者による座談会を実施する記念イベントについて、後援名義の使用承認を行った。 ○実施場所：南紀白浜マリOTTホテル ○実施主体：公益財団法人 南方熊楠記念館 ○後援：和歌山県、田辺市、白浜町 ○内容：①特別講演 講師 荒俣 宏：作家、南方熊楠記念名誉館長 ②座談会 登壇者 田村 義也：熊楠研究者、成城大学非常勤講師 橋爪 博幸：熊楠研究者、桐生大学短期大学部 教授 湯川 宗一：南方熊楠記念館評議員
	2	令和7年度優秀映画鑑賞推進事業「名作シネマシアター」	令和7年11月19日	本県は、県民の皆様と共に「文化で元気な地域づくり」を目指し、様々な文化振興事業に取り組んでいる。その1つとして、日本の映像技術を支えてきた優れた日本映画を鑑賞して頂く機会として、昭和の優秀映画鑑賞推進事業を開催した。 ○上映作品（3作品） ・1962年上映作品「秋刀魚の味」 ・1951年上映作品「麦秋」 ・1953年上映作品「東京物語」 ○実施場所：和歌山県民文化会館大ホール ○実施主体：一般財団法人和歌山県文化振興財団（県指定管理者）、国立映画アーカイブ共催
	3	万博のレガシー展	令和8年2月14日から5月6日	昭和100年を機に、万博の歴史をふりかえるとともに、激動の昭和において戦後復興を遂げ、日本で初めて開催した1970年万博を採り上げ、そのレガシーの多様性や未来性を現在の視点から考える展覧会を開催。 実施場所：和歌山県立近代美術館
	4	「昭和100年」連続ケース展示①『ロバート・テキスター関係資料』	令和8年3月13日から5月13日	昭和100年を機に、和歌山県立文書館所蔵の昭和期の資料を展示した。 『ロバート・テキスター関係資料』は、昭和22年(1947)から翌年にかけて連合国軍和歌山軍政部教育部長を務めたロバート・B・テキスターらに提出された英文の月次報告などを紹介。 実施場所：和歌山県立文書館閲覧室
	5	「昭和100年」連続ケース展示②『和歌山県営繕技師増田八郎資料』	令和8年5月15日から7月29日	昭和100年を機に、和歌山県立文書館所蔵の昭和期の資料を展示する。 『和歌山県営繕技師増田八郎資料』は、現和歌山県庁舎本館（昭和13年竣工）を設計した営繕技師増田八郎による庁舎建設過程を撮影した写真スクラップ帳の原本を展示する。 実施場所：和歌山県立文書館閲覧室
	6	「昭和100年」連続ケース展示③『第三次小野田少尉救出活動参加報告書等』	令和8年7月30日から9月9日	昭和100年を機に、和歌山県立文書館所蔵の昭和期の資料を展示する。 『第三次小野田少尉救出活動参加報告書等』は、昭和48年(1973)にフィリピン共和国ルバング島でひとり戦いを続けていた海南市出身の陸軍軍人小野田寛郎さん（翌年帰国）の捜索活動に派遣された同市役所職員が作成した報告書や現地で書き留めた「ルバング雑記」など。 実施場所：和歌山県立文書館閲覧室
	7	「昭和100年」連続ケース展示④全国育樹祭開催記念 みんなで育てるみどりの郷土	令和8年9月11日から11月11日	昭和100年及び和歌山県で令和8年11月7・8日に開催される第49回全国育樹祭にあわせて、和歌山県立文書館所蔵の戦後の和歌山県の森林整備に関する資料を展示する。 実施場所：和歌山県立文書館閲覧室
	8	昭和ってどんな時代？ -昭和の暮らしとこどもたち-	令和8年4月23日から令和9年3月31日	昭和100年を機に、その時代の暮らしや生活について知ってもらうため、関連する絵本や図鑑、物語等の資料展示・貸出を行う。 実施場所：和歌山県立図書館 児童室 実施主体：和歌山県立図書館
	9	「昭和100年」パネル展示「和歌山県庁舎ができるまで-『和歌山県営繕技師増田八郎資料』-」	令和8年5月15日から12月9日	昭和100年を機に、和歌山県立文書館所蔵の昭和期の資料をパネル展示する。 現和歌山県庁舎本館（昭和13年竣工）を設計した営繕技師増田八郎による庁舎建設工事関係資料のなかから、県庁舎ができるまでの過程を増田が撮影した写真を中心にパネル展示を行う。 実施場所:和歌山県立文書館入口前通路 実施主体:和歌山県立文書館
	10	特別展示「昭和100年」	令和8年5月15日から6月10日	昭和時代の暮らしや生活について知ってもらうため、関連する資料展示・貸出を行った。 実施場所：和歌山県立紀南図書館 閲覧室 実施主体：和歌山県立紀南図書館
	11	郷土資料特別展示「昭和100年 和歌山の芸術家たち」	令和8年5月15日から6月10日	激動の時代と呼ばれた昭和に芸術の分野で活躍した和歌山の先人たちを関連書籍や著書の展示・貸出を通じて紹介した。 実施場所：和歌山県立図書館 閲覧室 実施主体：和歌山県立図書館
	12	郷土資料特別展示「昭和100年 和歌山の作家たち」	後期：令和8年秋頃	激動の時代と呼ばれた昭和に文学の分野で活躍した和歌山の先人たちを関連書籍や著書の展示・貸出を通じて紹介する。 実施場所：和歌山県立図書館 閲覧室 実施主体：和歌山県立図書館
	13	アートの聖地MOMAW（和歌山県立近代美術館）プロジェクト	令和8年5月30日から	「和歌山県立近代美術館・博物館の建築・デザイン」の展示コーナーを5月30日より一般公開（無料）。両館の建物を設計した黒川紀章の足跡に注目し、昭和・高度成長期に打ち出された建築運動「メタボリズム」の代表作《中銀カプセルタワービル》の竣工（昭和47年）当時の資料と、「共生」の思想を込めた《和歌山県立近代美術館・博物館》（平成6年竣工）のための建築資料を紹介。両者に貫かれる生命の建築思想を資料から読み解く。 実施場所：和歌山県立近代美術館 リーディングコーナー
	14	コーナー展示「和歌山の植物アーカイブ」	令和8年6月13日から7月30日	昭和100年を機に、展示資料を通して和歌山の自然環境の変遷を振り返る。 展示植物：ブナ、ハカマカズラ、オオタニワタリ、キイシモツケ、ホンパノヤマノハコ 実施場所：和歌山県立自然博物館第二展示室内 実施主体：和歌山県立自然博物館
	15	和歌山県の各種デジタルアーカイブウェブサイトとのリンクコーナー開設	令和8年6月2日から	関連施策に関する人物、建造物、文書等の「昭和の記録」を掲載する和歌山県の各種デジタルアーカイブウェブサイトへのリンクコーナーを和歌山県ホームページの「『昭和100年』関連施策について」ページに開設し、各種デジタルアーカイブの「昭和の記録」の利用促進を図る。 実施主体：和歌山県
	16	原爆パネル展	令和8年8月3日から8月17日	広島・長崎に投下された原爆の影響により、現在も健康被害等に苦しむ方々がおられる。当時の状況について県民の方々に知ってもらえるよう、昭和100年を期し、原爆に関する写真パネルを展示する。 実施場所：和歌山県庁内 実施主体：和歌山県

団体名	番号	施策名	実施時期	施策の概要
和歌山県	17	コーナー展示「昭和100年 “あのじゅう”の和歌山」	令和8年10月から12月	昭和100年を機に、激動の昭和期、“あのじゅう”（和歌山弁で「あの頃（時分）」のこと）の和歌山の暮らしや文化について、和歌山県立博物館で収蔵するコレクションのなかから関連する文化財を展示して紹介する。 実施場所：和歌山県立博物館 常設展示室 実施主体：和歌山県立博物館
	18	パネルでたどる紀伊風土記の丘のあゆみ	令和8年度10月頃	「昭和100年」を機に紀伊風土記の丘開園前の大正時代から昭和40年代の古墳群の調査の歴史や昭和46年に開館して以降の当館の活動の事績を写真パネルからたどり、当館の活動を多くの県民に知ってもらうとともに令和10年度にリニューアルする和歌山県立考古民俗博物館（仮）の周知を図る。 実施場所：和歌山県立紀伊風土記の丘 移築民家「旧柳川家住宅」「谷村家住宅」 実施主体：和歌山県立紀伊風土記の丘
	19	令和8年度優秀映画鑑賞推進事業「名作シネマシアター」	令和8年11月27日	本県は、県民の皆様と共に「文化で元気な地域づくり」を目指し、様々な文化振興事業に取り組んでいる。その1つとして、日本の映像技術を支えてきた優れた日本映画を鑑賞して頂く機会として、昭和の優秀映画鑑賞推進事業を開催する。 ○上映作品：以下2作品 ・1994年上映作品「毎日が夏休み」 ・1989年上映作品「風の又三郎 ガラスのマント」 ○実施場所：和歌山県民文化会館大ホール予定 ○実施主体：一般財団法人和歌山県文化振興財団（県指定管理者）、国立映画アーカイブ共催
	20	和歌山県庁舎本館歴史見学ツアー（仮称）	令和8年度	昭和13年に竣工した近代洋風建築で、80年以上経った今もお現役の県庁舎として活躍している和歌山県庁舎本館の歴史と価値を紹介する解説付きの見学ツアーを開催する。 実施場所：和歌山県庁舎本館 実施主体：和歌山県
鳥取県	1	昭和100年！ジャズバンドがやってくる！ー無声映画と童謡とジャズ歌謡ー	令和7年6月29日	県立の文化施設である「わらべ館」の開館30周年と「昭和100年」を記念し、無声映画など昭和初期のエンターテインメントを体感できるイベントを開催した。昭和初期の無声アニメ映画「太郎さんの汽車」を弁士の説明付きで上映した他、1948年製のマイクを使用して、歌手と楽団が「東京ブギウギ」などの昭和歌謡やジャズの楽曲を披露した。 実施場所：わらべ館いべんとホール 実施主体：公益財団法人鳥取童謡・おもちゃ館
	2	戦争の記憶パネル展	令和7年8月1日から22日	原爆パネル展示（8月1日～12日）：県原爆被害者の会の協力により、原爆投下後の被害状況を映した写真や絵などで構成された原爆の被害の実情を伝えるパネルなどを展示。 戦争関連パネル展示（8月13日～22日）：県内の戦争被害の写真や戦争によって変化した暮らしの写真、県遺族会が実施する小中学校への平和の語り部活動などの写真を展示。 実施場所：鳥取県庁ロビー 実施主体：鳥取県
	3	「戦後80年平和の祈りと誓いの集い」	令和7年8月13日	戦争の悲惨さと平和の尊さを次の世代に継承し、平和を考える契機とするため、「戦後80年平和の祈りと誓いの集い」を開催。県内外の講師による戦争体験の講演、戦争体験者の証言映像の上映、子ども達による平和に関する発表、平和への誓いの宣言を行った。 実施場所：鳥取市民会館 大ホール 実施主体：鳥取県
	4	県立図書館 特別資料展「戦後80年 県民の継承のいとなみー戦争体験の想起とこれからの伝承ー」	令和7年8月13日から9月23日	戦後80年を迎え、戦争体験者の高齢化が進み、戦争を語り継いでいくことの重要性が改めて問われている今、新聞資料や体験談等の文集・記録をはじめとした地域資料等から体験者の記憶をたどり、戦争の記憶とこれからの伝承活動の営みを紹介した。 実施場所：鳥取県立図書館 特別資料展示室 実施主体：鳥取県立図書館
	5	県立公文書館 特別企画展「兵士と家族 ー戦争に翻弄された人々の記録ー」	令和7年11月14日から12月24日	出征兵士と留守家族の間で交わされた軍事郵便や兵士の日記、写真等の遺品、「銃後」を守った家族らの手記等の展示を通じ、戦争に翻弄された人生や地域の姿を振り返り、平和の尊さを考える特別企画展を開催した。 実施場所：鳥取県立公文書館 実施主体：鳥取県立公文書館
	6	警察音楽隊コンサート、警察資料の展示	令和8年3月19日	「昭和100年」を記念し、昭和をテーマとした警察音楽隊コンサートの開催や広報スペースを用いた昭和期の警察にかかる資料展示を行う。
	7	県立博物館 二の蔵ととりの歴史と民俗展示室「歴史の窓」コーナーの展示	令和8年6月16日から9月6日まで	「昭和100年」を記念し、近年当館が収集した昭和後期（昭和30年代から50年代）の世相を物語る、本や漫画、ポスター等を展示し、時代の雰囲気的一端を感じていただく。
	8	昭和100年に関する図書の展示	令和8年秋頃	県立図書館において、「昭和100年」を記念し、昭和の歴史、生活、文化等に関する図書の展示を行う。
	9	生誕130年 前田寛治 -ポエジイとレアリスム- 一九三〇年協会設立100年	令和8年10月10日から12月13日	県立美術館において、昭和の始まりとともに鳥取を代表する洋画家・前田寛治らによって結成された「一九三〇年協会」を顕彰する展覧会を実施する。
	10	県立公文書館 企画展「昭和100年 ー昭和初期の鳥取県を回顧するー」（仮題）	令和8年10月（予定、1ヶ月程度）	昭和元（1926）年から起算して満100年を迎える令和8（2026）年に、先人の躍動に学び昭和の記憶を共有することを目的とした企画展を開催する。
岡山県	1	展示「本で振り返る 昭和100年」	令和7年4月16日から5月11日	昭和100年を機に、昭和の出来事や人々の暮らしの変化などを本で振り返る企画展示を開催した。 実施場所：岡山県立図書館
	2	開館20周年記念講演会 戦後80年の今だからこそ知っておきたい「岡山空襲の実態と被害」	令和7年5月31日	今年度は戦後80年かつ昭和100年の節目であり、岡山空襲がどのような計画のもとで行われ、どれだけの被害をもたらしたのかを、最新の研究にもとづきながら紹介した。 実施場所：きらめきプラザ（岡山県立記録資料館隣接）

団体名	番号	施策名	実施時期	施策の概要
岡山県	3	第94回所蔵資料展 戦争の記録と記憶を伝える	令和7年5月31日から8月9日	今年度は戦後80年かつ昭和100年の節目であり、戦前から戦中の県民生活の様子を古文書と写真で確認し、戦後の岡山県の援護政策を示す公文書を展示した。また、戦争時代の記憶と記録を作製するための様々な視点と方法を紹介した。 実施場所：岡山県立記録資料館 1階展示コーナー
	4	戦後80年企画（ミニ展示） 戦時下の暮らし	令和7年7月3日から8月24日	戦後80年かつ昭和100年の節目であり、戦時下における人々の暮らしの道具を紹介した。 実施場所：岡山県立博物館
	5	昭和100年記念 岡山県立記録資料館所蔵資料展 「写真と資料で見る昭和の暮らし」	令和8年6月2日から9月29日	昭和元年（1926）から満100年を迎え、所蔵資料や写真から、主に昭和30～50年代に暮らした人々の姿を紹介する展示「写真と資料で見る昭和の暮らし」を開催している。 実施場所：岡山県立記録資料館 1階展示コーナー
徳島県	1	歴史・文化コレクション 「戦後80年 戦争の記憶を伝える」	令和7年7月8日から9月28日	徳島出身の兵士や徳島大空襲に関連する資料を中心に紹介し、戦後80年を経て、しだいに遠のく「戦争の記憶」を次世代に伝えるとともに、昭和100年の節目にあらためて、戦争の悲惨さや平和の尊さについて考える契機とした。 実施場所・主体：徳島県立博物館
	2	ナトコフィルム上映会	令和7年8月22日から23日	文書館が収蔵するC I E教育映画(通称「ナトコ映画」。GHQの占領政策の一環として、戦後日本各地で巡回上映された。)のフィルムの中から数作品を上映した。 実施場所：徳島県立二十一世紀館ミニシアター 実施主体：徳島県立文書館
	3	写真上映会”レトロ”～昭和の徳島～	令和7年9月19日	文化の森総合公園において行う夜間開館イベントにおいて、文書館が収蔵している徳島県を写した古写真のうちから昭和以降のものを選び、スライドショーとして館内で映写した。 実施場所・主体：徳島県立文書館
	4	企画展 「昭和100年」	令和7年9月23日から11月24日	昭和100年にちなみ、昭和のくらしや出来事が分かる本、ベストセラー、戦時中の出版物等を展示した。 実施場所：徳島県立図書館1階ギャラリー 実施主体：徳島県立図書館
	5	第77回企画展「とくしま昭和写真館」	令和8年10月27日から令和9年1月24日	昭和100年にちなみ、昭和期の徳島県内を写した写真の提供を広く県民に呼びかけ、新たに収集した写真を中心にした展示をおこなう。 実施場所：徳島県立文書館 2 階展示室 実施主体：徳島県立文書館
香川県	1	アート・コレクション 昭和100年記念 昭和の記憶と美術	令和7年6月3日から7月23日	社会の潮流から大きな刺激を受けた戦後昭和の日本や香川の美術を紹介する美術系企画展示を行った。 実施場所・主体：香川県立ミュージアム
	2	昭和100年記念 昭和の香川―人びとの暮らしとまちの変化	令和7年6月6日から7月23日	香川の人々のくらしとまちの変化に焦点をあて、収蔵資料を中心に、香川における64年にわたる昭和時代を振り返る歴史系企画展示を行った。 実施場所・主体：香川県立ミュージアム
	3	学芸講座 昭和100年・戦後80年を振り返る	令和7年6月28日、7月5日	昭和100年記念の常設展示と連携して、歴史・美術・民俗それぞれの視点から時代を振り返る学芸講座（定員72名）を2回開催した。 実施主体：香川県立ミュージアム
	4	香川県立文書館企画展示	令和7年10月28日から12月14日	香川県立文書館所蔵資料で企画展示「昭和香川と地域の変貌-高度経済成長から瀬戸大橋」を実施した。 実施場所：香川県立文書館展示室 実施主体：香川県立文書館
	5	常設展示 昭和の暮らしをふり返る	令和8年7月18日から11月1日	昭和100周年に因み、終戦を境に昭和時代を戦前・戦中と戦後に大きく分け、それぞれの社会の状況に着目しながら、香川県内の暮らしを振り返る。 実施場所：香川県立ミュージアム常設展示室4・5 実施主体：香川県立ミュージアム
	6	香川県立文書館企画展示	令和8年6月19日から8月30日	香川県立文書館所蔵資料で企画展示「広報誌でみる戦後香川の軌跡」を開催する。 実施場所：香川県立文書館企画展示室 実施主体：香川県立文書館
愛媛県	1	ロビー展「昭和100年 科学と技術」	令和7年12月1日から令和8年12月	愛媛県総合科学博物館の所蔵資料を中心に、いくつかのテーマをリレー形式で展示し、昭和の科学技術を紹介する。 実施場所：愛媛県総合科学博物館 常設展 3 階展示ロビー 実施主体：愛媛県総合科学博物館 第1弾「テレビ受像機の100年」（令和7年12月1日から令和8年3月19日） 第2弾「カメラ技術の100年」（令和8年3月31日から令和8年6月21日） 第3弾「昭和のテレビゲーム機」（令和8年7月4日から令和8年9月23日） 第4弾（テーマ未定）
	2	愛媛人物博物館 夏季企画展「戦後昭和を駆け抜けた愛媛の偉人たち」	令和8年7月25日から9月23日	愛媛県生涯学習センター内愛媛人物博物館の夏季企画展として、戦後「昭和」に活躍した愛媛ゆかりの人物を取り上げ、関連資料とともに紹介する。 実施場所：愛媛人物博物館 実施主体：愛媛県生涯学習センター
	3	テーマ展「昭和100年 昭和の風景を振り返る」	令和8年7月18日～8月31日	愛媛県歴史文化博物館が所蔵する資料を中心に、昭和に関連する写真やモノ資料を取り上げて昭和を振り返る。 実施場所：愛媛県歴史文化博物館 考古展示室 実施主体：愛媛県歴史文化博物館
	4	企画展 「本で振り返る昭和（仮）」	令和8年10月1日～12月24日	昭和100年にちなみ、世相や流行、暮らしにまつわる資料を展示。（昭和ベストセラー、郷土資料、絵本 等） 実施場所：愛媛県立図書館 実施主体：愛媛県立図書館 ※展示内容が変更となる可能性あり

団体名	番号	施策名	実施時期	施策の概要
高知県	1	昭和100年関連写真展（仮題）	令和8年10月から12月（予定）	オーテピア高知図書館（高知県立図書館・高知市立市民図書館）が所蔵する写真や地図などの資料を使って昭和を振り返る。 実施場所：オーテピア高知図書館 実施主体：高知県立図書館・高知市立市民図書館
	2	昭和100年記念式典・フォーラム	令和8年12月19日	昭和元年から起算して満100年となる本年に、高知の100年の振り返りとともに未来を考える記念式典等を開催することで、その記憶や先人の精神を継承し、高知県の強みを生かしながら人口減少をはじめとした地域課題の解決と未来の高知の活性化に向けたきっかけをつくることを目的とする。 実施場所：高知県立追手前高校 芸術ホール 実施主体：高知県
福岡県	1	特集展示	令和7年7月6日（日）～8月2日（土）	福岡県立図書館本館1階第一閲覧室にて、昭和100年をテーマにした本を集めて展示した。
	2	令和7年度 第2回企画展示「福岡県立図書館の蔵書でふりかえる昭和100年」	令和7年10月7日（火）～11月16日（日）	福岡県立図書館エントランスホールにて、昭和100年をテーマに、当館が所蔵する郷土資料やポスター、映像資料等を活用した展示を実施した。
	3	求菩提資料館秋の企画展	令和7年10月18日～11月30日	昭和100年の節目に昭和という時代を振り返った。 第2展示室：戦前～戦後、昭和30年代、40年代と3つの時代の暮らしの様子の再現展示を行った。 第3展示室：昭和の歴史を豊前市の歩みとともに紹介した。 実施場所：求菩提資料館第2・3展示室 実施主体：求菩提資料館（指定管理者：豊前市）
	4	九歴講座	令和8年4月から6月	毎月第2土曜日開催の一般向け講座のうち年間3枠において、九州歴史資料館の近代専門学芸員や外部講師が「昭和」をテーマに実施。 実施場所：九州歴史資料館研修室 実施主体：九州歴史資料館
	5	福岡共同公文書館 令和8年度企画展 昭和100年記念「ふくおかの日あのかとき ～昭和という時代～」	令和8年10月16日～令和9年1月24日	福岡共同公文書館において、昭和100年を記念し、昭和の始まりから終わりまでの福岡の歩みを振り返り、第二次世界大戦と敗戦、高度経済成長やバブル経済を経て現在の国際都市へ成長を遂げた「激動の時代」の福岡を歴史公文書や貴重な写真資料から読み解く企画展を実施する。
佐賀県	1	佐賀県公文書館企画展「昭和の学校教育―戦前から終戦までのあゆみ―」	令和7年4月17日から9月28日	昭和の戦前～終戦までの学校教育がどのように変化したのかを紹介する企画展を佐賀県公文書館において開催した。
	2	佐賀県公文書館企画展「昭和の時代と佐賀 ―後編1958～1989―」	令和7年10月4日から令和8年5月6日	昭和の時代の佐賀県や人々の暮らしの様子を紹介する企画展（後編）を佐賀県公文書館において開催。企画展は昭和期を前半期、後半期にわけた構成とし、前編はR6.11.8～R7.4.13に開催済み。
	3	戦後80年佐賀県戦没者追悼式	令和7年10月8日	戦後80年かつ昭和100年の節目に、佐賀県主催の戦没者追悼式（式典）を実施した。 実施場所：佐賀市文化会館大ホール 実施主体：佐賀県
長崎県	1	長崎県被爆80年事業補助金	令和7年度	被爆80年の節目の年に、被爆地から国内外に向けた平和発信を強化し、核兵器廃絶を求める機運醸成や被爆者なき次代を担う平和人材育成を促進することを目的として、発信力の高い団体等が県内において行うイベントへの支援を行った。
熊本県	1	装飾古墳館企画展 平和への誓約（うけい）	令和7年7月26日から9月15日	戦後80年かつ昭和100年の節目にあたり、山鹿市出身の松尾敬宇中佐が遺した戦争の記憶と、松尾家の繋いだ日豪交流の軌跡を紹介した。 実施場所・主体：装飾古墳館
	2	昭和天皇と第36回全国植樹祭に係る展示	令和7年11月14日から令和8年4月19日	熊本県で実施された第36回全国植樹祭で昭和天皇が使用された鍬や関連資料の展示。 実施場所：博物館ネットワークセンター阿蘇展示室（阿蘇火山博物館内） 実施主体：博物館ネットワークセンター
	3	ちょっと昔のくらし探検	令和8年1月6日から3月15日	昭和100年を機に、小学校で学習するちょっと昔（主に昭和）の道具を中心に、昔懐かしいくらしの様子や仕事の道具を一堂に紹介。 実施場所・主体：博物館ネットワークセンター
大分県	1	資料展示開催「昭和100年・戦後80年記念展示」	令和7年5月23日から10月4日	昭和100年及び戦後80年のこの機会に、「戦後80年語り続ける写真たち ～公文書館周辺一帯は陸軍駐屯地だった」と題し、陸軍駐屯地であった頃の写真や地図などの紹介を通して当時を想像し、現在が過去の上にあることを感じ、平和と未来を考える一助となるよう展示を開催した。 実施場所：公文書館閲覧室 Facebookで展示の解説を連載（6回）
	2	昭和100年！「戦争 平和」	令和7年7月から令和8年8月	子ども室の「戦争 平和」に関する絵本・読み物・紙芝居・調べもの用資料を一堂に集めて展示。 実施場所：大分県立図書館 子ども室 実施主体：大分県立図書館
	3	まちなかアートフェスタ（豊後高田会場）	令和7年10月	昭和100年にあたることを踏まえ、豊後高田市「昭和の町」を会場の一つとし、芸術文化イベント（ミニコンサート）を行った。 実施場所：豊後高田市 昭和の町
	4	企画展「昭和100年」	令和7年12月12日から令和8年2月15日	昭和100年の節目に、資料や写真を通して、ふるさと大分の「昭和」時代の姿を紹介。併せて関連講座（昭和時代―前半、後半）を実施期間中に2回実施予定。 実施場所・主体：大分県立歴史博物館

団体名	番号	施策名	実施時期	施策の概要
大分県	5	昭和100年！「昭和のおおいた旅案内」	令和7年12月16日から 令和8年4月19日	昭和100年を記念して、昭和の大分の旅の魅力を伝える当時のパンフレットや地図などを展示。おおいたデジタル資料室でインターネット公開されているものから紹介。 実施場所：大分県立図書館 おおいたギャラリー 実施主体：大分県立図書館
	6	企画展示「おんせん県おおいたへの道のり～歴史資料に見る温泉行政」	令和8年2月21日から4月19日	現在「おんせん県おおいた」として、温泉の魅力を原動力に広く大分県の魅力を発信している中、昭和100年の節目に、大分県や県民が取り組んできた健康や観光への活用、温泉保護活動の歴史を、当時の公文書や地域資料等により紹介する展示を開催 場所：大分県先哲史料館展示室（公文書館ブース）
	7	資料展示開催「昭和の体育を振り返って（仮題）」	令和8年8月から12月予定	冬季五輪、5月の世界卓球、FIFAワールドカップ2026からアジア競技大会と、大きな国際大会が開催される年となったこの昭和100年に、初期の体力向上・健康増進活動の広がりを始め、スポーツ文化の発展に向け開催された第21回国民体育大会の様子などの所蔵資料を紹介する展示を開催 場所：大分県公文書館閲覧室
	8	資料展示開催「所蔵資料（写真）で振り返る昭和のおおいた（仮題）」	令和9年1月～令和9年3月末予定	昭和100年を機に、時代の交通網の発展、地域産業の変化、県民の日常生活の変遷など、大きく変化した大分県を振り返ることができる広報誌や写真を紹介する展示を開催（検討中） 場所：大分県公文書館閲覧室
	9	企画展示「昭和初期の農事試験場～命を支える農業施策（仮題）」	令和9年2月～令和9年3月末予定	昭和初期の「大分県農事試験場」での作業風景、記録が写るガラス乾板の写真を所蔵していることから、令和の米価格高騰も背景に、およそ90年前の資料や写真の概要を整理し、当時の農作物の品質、収穫量の向上の研究努力などを紹介する展示を開催（検討中） 場所：大分県先哲史料館展示室（公文書館ブース）
	10	「昭和100年に関する図書の展示」	検討中	・昭和100年を記念して、昭和の歴史、生活、文化等に関する図書の展示を行う。 実施場所：大分県立図書館 一般資料室 実施主体：大分県立図書館
宮崎県	1	県立図書館 秋の読書週間企画展「昭和100年、読書の100年」	令和7年10月21日から11月9日まで	昭和、平成、令和の時代ごとに書籍の形態や情報収集の変遷に関する展示を行った。 実施場所：県立図書館 1階ギャラリー 実施主体：県立図書館
	2	県立図書館 昭和100年展	令和8年4月7日から5月17日まで	未曾有の激変と変革、苦難と復興の時代である昭和時代を偲ぶことができる書籍の展示を行った。 実施場所：県立図書館閲覧室 実施主体：県立図書館
	3	昭和100年記念展示	令和8年4月27日から5月3日まで	昭和100年を記念して、「宮崎県のあゆみ」のうち、昭和の出来事を紹介するパネル展を行った。 実施場所：県庁本館1階展示スペース 実施主体：県総合政策課
鹿児島県	1	ミニ展示	令和7年7月から8月	県立図書館において、ミニ展示として、一般閲覧室、児童文化室内の展示本コーナーに、戦争と平和をテーマにした本や昭和の人々の暮らしを記した本など、昭和に関する本の展示を行った。
	2	鹿児島県男女共同参画週間事業	令和7年7月から8月	本年が昭和100年に当たることを踏まえて、カクイックス交流センター及び鹿児島県庁において、昭和から令和までの間で男女共同参画・ジェンダー平等の節目となった出来事や関連する社会現象等について振り返る展示を行った。
	3	貴重資料紹介展	令和8年7月17日から9月1日	県立図書館において、貴重資料紹介展（テーマ「昭和100年ものがたり～鹿児島県立図書館・昭和コレクション～」）として、玄関ホールにて、昭和初期の新聞や絵はがき、写真など、昭和に関する貴重資料の展示を行う。
	4	黎明館常設展示（昭和の鹿児島～歴史、民俗、美術工芸～）	令和8年4月から令和9年3月	歴史・美術センター黎明館において、収蔵する歴史、民俗、美術工芸資料の中から、昭和に関わる資料を選抜し、令和8年4月から常設展示（1～3階）において、来館者に昭和を意識していただく展示を実施している。今後も資料の入替えや展示内容の工夫を行いながら、令和9年3月まで継続して実施する予定である。

【指定都市】

団体名	番号	施策名	実施時期	施策の概要
札幌市	1	図書展示 「ブギウギ昭和！～昭和100年を読む～」	令和7年7月10日から9月3日まで	新琴似図書館 特設展示コーナーで昭和に関する本を展示した。
	2	図書展示 「昭和文学館」	令和7年8月20日から9月3日	新琴似図書館 昭和100年を迎えるにあたり、昭和時代の暮らし・文化に関する本や昭和を彩った文学作品などの展示を行った。
	3	図書展示 「昭和100年」	令和7年10月9日から11月13日	東札幌図書館 特設展示コーナーで昭和に関する本を展示した。
仙台市	1	資料展示 「昭和100年 話題になった本あれこれ。」	令和7年3月28日から5月21日	昭和年間に話題になった図書資料を図書館入口付近に展示し、利用を促した。 実施場所・主体：仙台市若林図書館
	2	一般書テーマ展示 「昭和100年」	令和7年4月25日から5月21日	昭和にちなんだ内容の一般書資料を図書館開架に展示した（資料数は135冊）。 実施場所・主体：仙台市宮城野図書館
	3	一般書テーマ展示 「昭和100年」	令和7年4月25日から5月21日	図書館内の展示コーナーに昭和時代の日本の文化・芸術・暮らしに関する本を展示、貸出した。（資料数184冊） 実施場所・実施主体：仙台市泉図書館
	4	テーマ展示（一般） 「昭和100年」	令和7年9月26日から10月22日	昭和時代のベストセラーや世相を表す図書など、関連する一般書の展示・貸出を行った。 実施場所：仙台市民図書館一般書フロア 実施主体：仙台市民図書館
	5	テーマ展示（郷土） 「センダイ ショウワ100年 仙台の100年を振り返る」	令和7年9月26日から12月27日	昭和時代に関連する郷土資料の展示を行った。 実施場所：仙台市民図書館郷土資料コーナー 実施主体：仙台市民図書館
	6	昭和100年メモリアル センダイ・タイムマシン ～定点写真で巡る懐かしの昭和と現在の風景～	令和7年10月18日	昭和以降に仙台市内で撮影された定点写真を基に、風景の移り変わりを見ていく講座を実施した。 実施場所：せんだいメディアテーク 実施主体：仙台市民図書館
	7	一般書ミニ展示 「昭和100年」	令和7年11月28日から12月12日	昭和にちなんだ内容の一般書資料を図書館開架のミニ展示コーナーに展示した。 実施場所・主体：仙台市榴岡図書館
	8	100年前の仙台から、100年先の仙台へ	令和7年12月20日	仙台・宮城ミュージアムアライアンス（SMMA）によるイベント「ミュージアムユニバース」内で、100年前の仙台を振り返りながら仙台の未来について考えるトークイベントを開催した。 実施場所：せんだいメディアテーク 実施主体：仙台・宮城ミュージアムアライアンス実行委員会
さいたま市	1	テーマ展示「レトロ」	令和7年8月5日から24日	昭和100年を迎えるにあたり、昭和レトロに関連する本の展示を行った。 実施場所：さいたま市立武蔵浦和図書館
	2	テーマ展示「昭和100年」	令和7年9月2日から28日	図書館内の展示コーナーにおいて、毎月実施しているテーマ展示の一環として、「昭和100年」のテーマにちなんだ資料の展示を実施した。 実施場所：さいたま市立桜図書館
	3	令和7年度「さいたま市のうつり変わりと人びとのくらし展」	令和7年12月6日から令和8年2月23日	子どもたちの学習の充実を図るとともに、昭和100年を機に郷土の歴史への興味や関心を高めることを目的として、地図資料や写真パネル、当時の生活道具等の資料により、さいたま市の発展の様子やくらしの移り変わりについて、理解に役立つ展示を行った。 実施場所：さいたま市立博物館
	4	令和8年度「コレクションによるテーマ展」	令和8年4月18日から6月21日	昭和100年を機に、昭和に活躍しさいたま市で旺盛な制作活動を行った美術家のコレクション展を開催する。
	5	さいたま市生涯学習学びのネットワーク	令和8年9月15日から11月23日	市民が市内の身近な生涯学習施設等の魅力を発見または再確認し、自身の学習活動へ繋げることを目的として、各施設で同じテーマに沿った展示や講座等を開催する。テーマを「それぞれの100」とし、昭和100年の記念すべき年に、100館の生涯学習関連施設において、「100」に因んだ取組を実施する。
	6	令和8年度「さいたま市のうつり変わりと人びとのくらし展」	令和8年12月から令和9年2月（予定）	子どもたちの学習の充実を図るとともに、昭和100年を機に郷土の歴史への興味や関心を高めることを目的として、地図資料や写真パネル、当時の生活道具等の資料により、さいたま市の発展の様子やくらしの移り変わりについて、理解に役立つ展示を行う。 実施場所：さいたま市立博物館
	7	さいたま市民大学	令和8年11月17日	造幣局さいたま支局（造幣さいたま博物館）を会場として実施するさいたま市民大学の講座において、昭和100年を機に、昭和期の貨幣に関して学ぶ内容を取り入れる。
	8	第50回特別展「100年前のさいたまー大正から昭和へー」（仮）	令和8年10月10日～11月23日（予定）	昭和100年の節目に、1926年前後のさいたま市域のようすを、いくつかのテーマに分けて取り上げ、紹介する。資料や地図、写真などを通して「昭和」が始まった時代を振り返り、現代のさいたま市がどのように形成されてきたのかについて考えるきっかけとなる展示を開催する。 実施場所：さいたま市立博物館

団体名	番号	施策名	実施時期	施策の概要
千葉市	1	企画展示 「昭和から令和までの記憶 昭和100年～これからの未来を切り拓くために～」	令和7年9月2日から30日	千葉市立緑図書館において展示コーナー等で昭和に関する本を展示した。
	2	昭和における本市の歩みの広報	未定（令和8年度中）	昭和における本市の歩みに関する資料を、イベントや市有施設での展示等により広報を実施。
横浜市	1	港北区読書講演会「横浜・港北の鉄道の昭和時代」	令和7年5月10日	岡田直氏による東急東横線とその沿線の発展の歴史についての講演を行った。 実施場所・主体：横浜市港北図書館
	2	展示「昭和百年 歴史編」	令和7年6月20日から7月21日	昭和100年を記念して昭和史に関する資料を展示した。 実施場所：横浜市中央図書館 5階 実施主体：横浜市中央図書館
	3	展示「昭和百年 自然・社会編」	令和7年7月23日から8月17日	昭和100年を記念して昭和史に関する資料を展示した。 実施場所：横浜市中央図書館 4階 実施主体：横浜市中央図書館
	4	展示「昭和百年 文化編」	令和7年8月19日から9月15日	昭和100年を記念して昭和史に関する資料を展示した。 実施場所：横浜市中央図書館 5階 実施主体：横浜市中央図書館
	5	SNS企画「写真でみる昭和の横浜消防」	令和7年11月14日から12月末	消防職員、消防車両及び災害活動の様子など、横浜市消防局に残る昭和時代の写真を横浜市消防局公式Instagramに7回に分けて投稿した。 横浜市消防局公式Instagram（@yokohama_fire_b）： https://www.instagram.com/yokohama_fire_b/
	6	パネル展示「80/100」	令和7年12月16日から令和8年1月12日	昭和100年と戦後80年にあたることから、戦争と平和に関するパネル展示を行う。あわせて、関連図書と昭和史に関する資料の展示を行う。 実施場所・主体：横浜市内図書館
	7	横浜市歴史博物館 企画展「昭和の時間に包まれる 一北原コレクションと所蔵資料一」	令和8年7月4日から8月23日	昭和を知らない世代（平成・令和生まれ）の方々に昭和を伝えるのみならず、昭和を生きた人々にその体験を思い出してもらう機会の提供として、戦後期の高度経済成長期における昭和の日常を中心に、TOY MUSEUM北原コレクションと当館所蔵資料をコラボさせ、同時代に使われた家電やおもちゃ、企業広告、一般的な商店のミニチュアなどを展覧会にて紹介する。 実施場所：横浜市歴史博物館
相模原市	1	テーマ展示 「昭和100年」	令和7年6月13日から7月9日	昭和100年に関連して、昭和の玩具、お菓子、建築物等の本を展示することで、貸出促進につなげた。 実施場所：相模原市立図書館
	2	音と映像のコーナー 展示「今年は昭和100年！」	令和7年7月11日から10月8日	昭和100年に関連して、昭和の時代になじみ深いCDを展示し、貸出促進につなげるもの。 実施場所：橋本図書館
	3	第27回公文書館企画展「水利用で振り返る昭和の相模原市」	令和7年7月22日から10月31日	昭和100年に関連して、相模川河水統制事業、畑地かんがい事業など、水利用に関する昭和の事業を歴史的公文書等から振り返ることにより、相模原市発展の足跡を跡付けていく。 実施場所：相模原市立公文書館
	4	成人学級	令和7年9月18日から11月6日	テーマ「昭和100年～この先の100年～」とし、下記内容で実施。 ・明治大学平和教育登戸研究所の見学 秘められた戦争の裏側 ・岡本太郎美術館の見学 戦後80年次世代につなぐ原爆×芸術 ・クロネコヤマトミュージアムの見学 ヤマトグループ100年の歴史 実施主体：上鶴間公民館 成人学級実行委員会
	5	高齢者学級	令和7年10月23日	「昭和100年企画」とし、下記の内容で実施した。 ・社会見学①立川市昭和天皇記念館を見学 ②八王子市武蔵野陵見学 実施主体：新磯公民館 新磯公民館さくら楽級運営委員会
	6	テーマ展示 「昭和100年」	令和7年11月14日から12月28日	戦前、戦後復興期、高度成長期、バブル経済等、それぞれの昭和という時代が分かる資料を展示した。 実施場所：相模大野図書館
	7	文化講座 講演	令和7年11月29日	昭和100年、戦後80年を迎え、戦争を体験した方が少なくなっていく今、シベリア抑留された本人から貴重な体験談を聞く機会として講演会を実施した。 テーマ「人生100年を振り返って」 講師：西倉勝氏 実施主体：上鶴間公民館 文化部
	8	第28回企画展「幻の昭和の開発事業-相模湖・藤野地域-」	令和8年2月3日から4月17日	昭和100年に関連して、昭和20年代から40年代にかけて、相模湖・藤野地域では多くの開発事業が計画されたが、その中で幻に終わった開発計画、紆余曲折を経て引き継がれている観光開発などを取りあげ、歴史的公文書を通してその経緯を辿った。 実施場所：相模原市立公文書館

団体名	番号	施策名	実施時期	施策の概要
相模原市	9	大山柏勝坂遺跡発掘 1 0 0 周年記念企画展『縄文集落と勝坂式土器』	令和8年10月10日（土）から12月13日（日）	大正15年（昭和元年）に実施された南区磯部の勝坂遺跡について、発掘調査100周年を記念した考古企画展を開催するもの。 実施場所：相模原市立博物館
新潟市	1	旧小澤家住宅企画展－新潟むかし 昭和の記憶－「ふるさと新潟－農村は消えた－」	令和7年7月12日から8月31日	昭和100年を記念し、写真家桜井進一氏が撮影した昭和30年代の市域の農漁村の風景写真を展示紹介した。 実施場所：旧小澤家住宅 実施主体：公益財団法人新潟市芸術文化振興財団（指定管理者）
	2	新潟市北区郷土博物館企画展－昭和100年 衣食住タイムスリップ！－	令和8年1月10日から5月6日	昭和前半期の衣食住の道具を展示し、新潟（主に新潟市北区）の100年（昭和～平成時代）の様子や出来事を写真で振り返った。 実施場所：新潟市北区郷土博物館 実施主体：新潟市北区郷土博物館
	3	旧小澤家住宅企画展－桜井進一氏写真展「新潟大火」－	令和8年9月5日から10月4日	昭和30年10月1日に発生した新潟大火の写真を展示し、災害の状況を振り返る。 実施場所：旧小澤家住宅 実施主体：公益財団法人新潟市芸術文化振興財団（指定管理者）
	4	新潟市文書館企画展－昭和100年記念 変わりゆく新潟の交通－	令和8年9月26日から令和9年3月20日	新潟市文書館所蔵の輸送・交通に関する資料や写真から昭和における新潟市の交通をテーマにして、各輸送・交通主体が互いに関連を持つ点に注目しながら、昭和の新潟市の輸送・交通について紹介する。また、令和8年9月26日（土）には、企画展解説講座を実施する。 実施場所：新潟市文書館 実施主体：新潟市文書館
静岡市	1	上映会「南部木曜シネマ 何度観ても色あせない名画（邦画編）」～映画解説者・小澤正人氏セレクション～	令和7年9月4日、18日、10月2日、16日	「昭和100年」にちなみ、映画解説者・小澤正人氏が選んだ昭和の名画 4 作品の上映会を開催した。（上映作品）①「麦秋」（昭和26年・1951：講師解説付き上映）、②「東京物語」（昭和28年・1953）、③「煙突の見える場所」（昭和28年・1953）、④「銀座化粧」（昭和26年・1951） 実施場所・主体：静岡市立南部図書館
	2	展示「駿河区20年・昭和100年」	令和7年9月9日から10月21日	区主催イベント「駿河区20年・Week2025」の開催と昭和100年を記念して、各年の出来事とベスト絵本を展示。また、駿河区も誕生して20年目となるため、合わせて区の魅力を紹介した。 実施場所・主体：静岡市立南部図書館
	3	展示 令和8年度登呂博物館夏季企画展「昭和100年記念 登呂遺跡から見た日本のあけぼの」	令和8年7月18日から9月13日	昭和18年、22～25年に行われた登呂遺跡の第1～5次調査について、当時の調査記録などの資料をデジタルアーカイブ化し、その成果と実際の資料を昭和100年を機に公開する企画展を実施する。 実施場所・主体：静岡市立登呂博物館
	4	展示「昭和を賞でふりかえりましょう」	令和8年9月25日から10月27日	文学や芸能の「賞」をキーワードに、昭和にちなんだ本を当時の懐かしい物と一緒にふりかえる展示を実施する。 実施場所・主体：静岡市立南部図書館
浜松市	1	昭和に関する図書資料等の展示	令和7年4月1日から12月28日	昭和に関する所蔵資料、当時の絵本や道具などの展示。 実施場所：はまゆう図書館ほか 6 館 実施主体：指定管理者
	2	こども郷土研究講座	令和7年7月26日	小学3～6年生の児童(親子)を対象とした郷土の歴史講座を実施した。 実施場所・主体：浜松市立中央図書館
	3	浜松市立内山真龍資料館特別展「昭和100年 天竜を想う～懐かしの写真と天竜の文化財～」	令和7年9月26日から12月21日	戦前から平成にかけての懐かしい写真、鰐口など天竜地域の神社・寺院に係る文化財の展示を行った。 実施場所・主体：浜松市立内山真龍資料館
	4	浜松の100年をテーマにした講座	令和8年2月14日	2025年が昭和100年にあたることにちなんだ「浜松の100年」をテーマにした講座。 実施場所・主体：浜松市立都田図書館
名古屋市	1	千種図書館における展示	令和7年4月1日から8月15日	昭和100年の節目に、【終戦日記】【敗戦日記】を展示した。 千種図書館が閲覧室で展示。
	2	名東図書館『昭和100年』展示	令和7年6月21日から7月17日	昭和のできごとに関する本、昭和の懐かしい物や風景に関する本及び昭和に流行した本の展示を行った。
	3	千種図書館「被爆80年 ある小学校の取り組み」展示及び関連講座	展示：令和7年7月19日から8月14日 講座：令和7年8月2日	戦後80年、昭和100年を迎える年に、あらためて平和と戦争について考えるため、写真絵本「火のトンネル」の著者である、名古屋市千種区在住の写真家・岡本央(さなか)さんの原爆体験を振り返る展示を開催。 あわせて、岡本さんによる講座と、地元高校生による岡本さんの作品の朗読会を開催。
	4	富田図書館 何があった？！「昭和100年」	令和7年12月2日から28日	「昭和100年」関連展示を館内で実施した。
	5	昭和区 昭和101年に防災・健康を考えアジア競技大会を全力で応援する事業	【防災】令和8年8月5日 【健康づくり】令和8年11月4日	昭和101年に、これまでの100年の災害を振り返りながら防災啓発を行うとともに、これからの100年に関連した防災啓発・今後の100年を見据えた健康づくりイベントを実施する。 【防災】伊勢湾台風の被災経験者である語り部から次の100年を担う世代へ体験談を繋ぎ、啓発を行う。 【健康づくり】回想法を活用したフレイル予防を目的とした懐かしの昭和歌謡コンサートを開催する。
京都市	1	京カレッジ	令和7年4月26日から12月13日	生涯学習プログラム「京カレッジ」の一環として「京都力養成コース京都学講座 あなたの知らない京都旅－昭和100年の物語－」を開講。京都の1世紀を振り返るとともに、次世紀の京都のあり方を考える。

団体名	番号	施策名	実施時期	施策の概要
京都市	2	戦後80年関連事業	令和7年8月1日から令和9年3月31日	戦後（被爆）80年かつ昭和100年を契機とし、京都市で毎年度実施している、市民の皆様と平和の尊さを見つめ直す事業（ポスター展示等）をはじめ、節目の年に合わせた各種事業を多様な主体と協働して実施する。
	3	50回記念「京の夏の旅」	令和7年7月1日から9月30日	50回を迎える今年は、「昭和100年」という節目の年にちなみ、特別公開箇所、先斗町歌舞練場などの近代京都の名建築を組み込み開催した。
	4	読書週間記念事業「司書のイチオシ」における昭和関連の書籍の展示等	令和7年10月27日から11月9日	読書週間記念事業において、図書の専門家である司書がおすすめの本を紹介する「司書のイチオシ」を京都市図書館全館で実施。テーマを「想いをはせる、未来をひらく 昭和100年の本」として、昭和関連の図書紹介文の展示等を行った。
	5	京都モダン建築祭	令和7年11月1日から9日	京都モダン建築祭実行委員会が主催する「2025年京都モダン建築祭」（京都市共催）において、市内各所の昭和期建築などを公開。
	6	京都モダン建築祭	令和8年10月31日から11月8日	京都モダン建築祭実行委員会が主催する「2026年京都モダン建築祭」（京都市共催）において、市内各所の昭和期建築などを公開。
大阪市	1	「昭和100年『どっぶり、昭和町。』」への後援	令和7年4月29日（イベント開催日）	大阪市阿倍野区「昭和町」において開催されたイベント「昭和100年『どっぶり、昭和町。』」について、後援名義の使用承認を行った。
	2	浪速図書館 図書展示「昭和100年大阪の子どもと遊び」	令和7年4月18日から6月18日	浪速区が令和7(2025)年に区制100周年を迎えることから、区政100周年にちなみ大阪の子どもや遊びについての関連本を展示した。
	3	旭図書館 図書展示「昭和レトロ博覧会」	令和7年6月1日から7月16日	今年2025年が昭和100年であることから、現在「昭和レトロ」を感じさせる、どこか懐かしい雰囲気デザインのアイテムが人気であることを鑑み、昭和を身近に感じるビジュアル本や、懐かしい気持ちになるような小説、絵本を集めて展示した。
	4	浪速図書館 図書展示「昭和100年大阪の水辺」	令和7年6月20日から8月20日	浪速区が令和7(2025)年に区制100周年を迎えることから、区政100周年にちなみ大阪の水辺に関連した本を展示した。
	5	浪速図書館 図書展示「昭和100年大阪の行楽」	令和7年8月22日から9月17日	浪速区が令和7(2025)年に区制100周年を迎えることから、区政100周年にちなみ大阪の行楽の関連本を展示した。
	6	浪速図書館 図書展示「昭和100年大阪の食事・たべもの」	令和7年11月21日から令和8年1月14日	浪速区が令和7(2025)年に区制100周年を迎えることから、区政100周年にちなみ大阪の食事・たべものについての関連本を展示した。
	7	都島図書館 ケース展示「都島区の、昭和100年」	令和7年12月2日から27日	昭和100年に関連して、昭和時代の都島周辺の地図を展示。都島周辺の時代ごとの変化が比較して見られるように紹介した。
	8	都島図書館 図書展示「大阪の昭和100年」	令和7年12月2日から27日	大阪市の昭和の写真集を中心に昭和の様子がわかる図書を展示した。
	9	中央図書館 図書展示「昭和100年 -激動の昭和を振り返る-」	令和7年12月19日から令和8年2月18日	昭和100年に関連して、激動と変革、苦難と復興の時代「昭和」に関する図書を展示した。
	10	浪速図書館 図書展示「昭和100年大阪ののりもの」	令和8年1月16日から2月18日	浪速区が令和7(2025)年に区制100周年を迎えることから、区政100周年にちなみ大阪ののりものについての関連本を展示した。
	11	浪速図書館 図書展示「昭和100年大阪の街並み」	令和8年2月20日から4月15日	浪速区が令和7(2025)年に区制100周年を迎えることから、区政100周年にちなみ大阪の街並みについての関連本を展示した。
	12	福島図書館 図書展示「昭和100年」	令和8年3月20日から5月20日	1926年に大正15年から昭和元年へ改元された頃の様子や昭和を回顧できる本集めて展示。また大阪市立図書館デジタルアーカイブにて、昭和初期頃の写真や絵葉書を検索して閲覧する方法を紹介した。
堺市	1	東図書館初芝分館 ブックフェア「昭和回顧」	令和7年7月1日から31日	昭和100年に関連し、昭和を懐かしむ本や新たな発見ができるような本を展示した。
	2	南図書館美木多分館 ブックフェア「懐かしの昭和」	令和7年10月1日から31日	昭和100年に関連し、昭和の暮らし、文化、出来事、流行についての本を展示した。

団体名	番号	施策名	実施時期	施策の概要
堺市	3	令和7年度堺市立中央図書館郷土資料展「昭和の堺市」	令和7年11月1日から24日	本年令和7年は、昭和元年から100年目の年にあたる。昭和時代は第二次世界大戦や昭和の大合併、臨海工業地帯の造成や泉北ニュータウンの開発など、近代から現代へ、堺市が大きく動いた時代であり、これを知することは堺市のいまを知ることにつながる。郷土資料展では、昭和時代の当館所蔵資料を展示し、解説パネルとあわせて堺の歴史を紹介した。 また、関連事業として郷土資料展記念講演会「戦時下の堺と建物疎開～『堺市第一次疎開地区記録』はなぜ作成されたのか～」を実施した。 実施場所：堺市立中央図書館 1 階ロビー 実施主体：堺市立中央図書館
	4	中図書館東百舌鳥分館ミニブックフェア「昭和100年を振り返る」	令和7年11月1日から30日	昭和100年に関連し、事件・自然災害など昭和時代に起きた出来事や、話題になったアニメ、映画、活躍した人物などについての本を展示した。
	5	南図書館梅分館ブックフェア「懐かしの昭和～昭和100年～」	令和7年12月3日から28日	昭和100年に関連し、昭和に起こった出来事や昭和ならではの文化を案内した本を展示した。
	6	東図書館ブックフェア「昭和が始まって100年です」	令和7年12月3日から28日	昭和100年に関連し、昭和の歴史、暮らしや文化、出来事などについての本を展示した。
	7	堺市博物館企画展 昭和の記憶	令和8年4月1日から6月14日	昭和100年にあたり、全国で顕彰事業がおこなわれている。64年間の昭和時代のなかで、もっとも象徴的なできごとは第二次世界大戦の戦禍とその後の復興による社会の再生といえるだろう。堺においても昭和20年の空襲とその後の復興は歴史的なできごとであった。本展では、空襲を前に実施された堺の建物疎開と当時の記録活動を紹介し、空襲後の都市堺のよみがえった姿を紹介する。
	8	第28回堺市所蔵美術作品展「高岡徳太郎～昭和を生きた堺の洋画家」	令和8年9月12日から10月18日	高岡徳太郎の高島屋宣伝部時代から晩年までの画業を紹介する。本年に「昭和100年」を迎えることを記念し、洋画家・高岡徳太郎の画業をとおして激動の時代であった昭和を振り返る。
岡山市	1	岡山城の昭和100年	令和7年4月16日から7月16日	岡山城から見た昭和100年を展示にて紹介した。 実施場所・主体：岡山城
	2	第48回岡山戦災の記録と写真展 戦後80年 空襲と占領――復興と発展の源流	令和7年6月7日から7月6日	1945年6月29日の岡山空襲の紹介に加えて、戦後80年かつ昭和100年の節目を迎える今年は、現在のまちとくらしに大きな影響を与えた、戦後の復興と連合国軍による占領の時代についても、新資料をまじえてくわしく紹介した。 実施場所：岡山シティミュージアム
	3	岡山戦災のパネル展	令和7年6月9日から11日	岡山空襲の実態などに関するパネルを展示した。 実施場所：岡山市役所
	4	平和関連講座	令和7年6月14日、22日、10月25日、11月15日	戦後80年かつ昭和100年の節目を迎える今年、以下の事業を実施した。 ①R7.6.14 「岡山空襲体験談を聞く会」（岡山空襲体験者） ②R7.6.22 講演「イギリス連邦占領軍と岡山」（貴志俊彦氏） ③R7.10.25 講演「戦後80年目における平和教育とこれから」（村上登司文氏） ④R7.11.15 講演「市街地空襲の目標と岡山・倉敷の爆撃中心点」（工藤洋三氏） 実施場所：岡山シティミュージアム
	5	戦後80年記念講演「『カムカムエヴリバディ』の世界と岡山空襲」	令和7年6月29日	岡山市が舞台の一つとなったNHK連続テレビ小説「カムカムエヴリバディ」。戦後80年かつ昭和100年の節目を迎える今年、主人公の父・橘金太役を演じた甲本雅裕さんとチーフ演出であった安達もじりさんをお招きし、「カムカムエヴリバディ」の中で描かれた岡山空襲のシーンや平和への想いなどを伺った。 実施場所：岡山芸術創造劇場ハレノワ
	6	映像で振り返る岡山の「昭和100年」上映会の開催	①令和7年9月28日 ②令和7年10月11日 ③令和7年10月19日 ④令和7年11月11日 ⑤令和7年11月16日 ⑥令和7年12月6日 ⑦令和8年2月8日 ⑧令和8年2月14日 ⑨令和8年2月21日 ⑩令和8年3月7日	岡山シティミュージアム主催のミュージアム講座において収蔵する映像から選んだ作品を複数上映する上映会を開催。岡山の「昭和100年」を振り返り、次代の岡山を担う世代へ郷土が歩んだ歴史を伝える機会を提供した。（災害の歴史、空襲と戦後復興、岡山城再建等） ①「水害との戦い―災害の歴史を語り継ぐ―」、②「空襲と戦後復興から政令指定都市・岡山へ」、③「昭和の時代に完成した児島湾干拓」、④「高度成長と交通網の整備、中四国の結節点へ」、⑤「“不死鳥”岡山城 焼失と再建、リニューアル」、⑥「岡山の「昭和100年」もの言わぬ証言者たち ―おかでんと懐かしの建物たち―」、⑦「ふるさとが生んだ児童文学者 坪田譲治」、⑧「地域で支える故郷の祭り ―西大寺会陽と東照宮祭礼―」、⑨「古代吉備文化の継承 ―探訪 吉備路の巨大古墳群―」、⑩「桃太郎伝説と豊臣の誇りを今に ―「日本遺産」ゆかりの地と足守を訪ねる―」 実施場所：岡山シティミュージアム
	7	戦災記録プレート等設置	記録プレート：令和7年11月 説明看板：令和7年8月	岡山空襲爆撃中心点（中央郵便局前交差点）付近に記録プレート（岡山空襲に関する説明看板）を設置し、除幕式を開催した。また、岡山城天守閣脇の旭川河畔に残る「戦災樹木」に説明看板を新規設置した。
広島市	1	みづま工房写真コレクション寄託記念Part2「広告屋が見てきたもう一つの広島」	令和7年3月10日から6月27日	広島市企画総務局公文書館が、大手町平和ビル7階において企画展示を行った。 本展は、昭和30年代から40年代に撮影された写真の中から、広島食文化の発展や余暇活動の多様化、令和7年3月に新たに開業した広島駅（当時は広島民衆駅）周辺の移り変わりなどをテーマに構成した。
	2	被爆80周年 写真展「近代の、広島。」	令和7年9月5日から16日	被爆80年にあたって、城下町から発展した被爆前の広島、被爆による廃墟の中から立ち上がり復興した広島の姿をたどる写真展を開催し、広く市内・県内・県外・諸外国からの来館者の閲覧に供した。 実施場所：旧日本銀行広島支店
	3	企画展「タイムトラベルくらし80年～くらべて実感、わたしたちのくらし」	令和7年12月6日から令和8年2月23日	戦後80年に渡る時間の中を行ったり来たりする構成で、戦前戦中戦後・高度成長期・昭和後期～平成・現在のそれぞれの時代のくらしを、様々な生活用品等からたどるとともに、平和の尊さを再認識する。 実施場所：郷土資料館

団体名	番号	施策名	実施時期	施策の概要
広島市	4	基町写真展の開催	令和8年秋頃予定	被爆の惨禍を経て、戦後復興事業により形成された基町住宅地区の変遷を紹介する写真展を開催する。昭和の時代における都市と暮らしの復興と創造の記憶を、写真資料等を通じて継承し、未来の都市と暮らしを切り拓いていくための契機とする。 実施場所：広島市中区・基町住宅地区。 実施主体：基町プロジェクト（広島市中区役所・広島市立大学連携事業）
	5	令和7年度広島市公文書館収集写真展「フィルムのなかの日常～カメラと暮らしした昭和の記憶～」	令和8年3月9日から7月10日	広島市企画総務局公文書館が、大手町平和ビル7階において企画展示を行った。本展「フィルムのなかの日常～カメラと暮らしした昭和の記憶～」では、平成26年度から令和6年度までに当館へ寄贈された写真資料の中から、昭和の広島に暮らした6人のカメラ愛好家たちによる写真58点を紹介している。
福岡市	1	企画展示「戦争とわたしたちのくらし34」	令和7年6月17日から9月15日	福岡市博物館では、平成3年から、「福岡大空襲」の日である6月19日前後に企画展示「戦争とわたしたちのくらし」を開催し、戦時期の人びとのくらしのあり方を、さまざまな観点から紹介してきた。 34回目となる今回は、昭和100年、戦後80年の節目ということで、福岡の人びとと昭和改元、戦争の時代に求められた役割、福岡大空襲、戦後のくらしを振り返った。
	2	福岡市早良図書館 特集展示	令和7年6月	昭和時代に関する本の展示を行った。 実施場所：福岡市早良図書館 特設展示架
	3	福岡市博多図書館 特集展示「昭和100年」	令和7年7月から8月	戦争や経済、昭和の生活などを振り返る本を展示した。 実施場所：福岡市博多図書館
	4	福岡市城南図書館 「昭和100年 戦後80年」一般展示	令和7年8月1日から9月28日	昭和及び、第2次世界大戦に関する一般書を集めて展示した。 実施場所：福岡市城南図書館一般展示架
	5	福岡市博多南図書館 「昭和100年」企画展示	令和8年1月	「昭和100年」を記念して、関連する本の特集展示を行う。昭和の暮らしや町並みがわかる絵本や児童書、昭和の様子がわかる写真集などの関連本を展示する。 実施場所：福岡市博多南図書館
北九州市	1	おもちゃでタイムトラベル 昭和50周年	令和7年7月19日から11月3日	1970年代に流行したおもちゃの展示や体験を通して、昭和50年を振り返る。 実施場所・主体：北九州市立自然史・歴史博物館
熊本市	1	熊本大空襲 「平和啓発パネル展」	令和7年7月23日から8月1日、8月4日から17日	熊本大空襲のパネルを展示し、戦争の悲惨さ、平和の大切さ、命の尊さを再認識する機会を設けた。 実施場所：市役所本庁舎、熊本市富合ホール、民間施設1カ所 実施主体：市
	2	戦後80年関連事業の広報	令和7年7月以降	昭和100年という節目である今年、上記施策を含む戦後80年関連事業について、市公式ホームページ等で広報を行う。 実施主体：市
	2	戦後80年人権啓発講演会及び ジョー・オダネル写真展	講演会：令和7年8月20日 写真展：令和7年8月20日から22日	【講演会】 ・第1部 必由館高校生徒による平和に関する探究の発表 ・第2部 梶 久美子氏（ノンフィクション作家）による講演会 テーマ：「戦争とアンパンマン ～やなせたかしからのメッセージ～」 【写真展】 ジョー・オダネル(米従軍カメラマン)写真展（「焼き場に立つ少年」など） 実施場所：いずれも熊本城ホール 実施主体：熊本市、熊本市人権啓発市民協議会